

# 稲沢市 観光まちづくり ビジョン

第2次稲沢市観光基本計画



稲沢の“光”をつなぐ  
観光まちづくり



計画の進捗状況（2019年度年次報告書）

稲沢市

# 1 成果指標と目標値の達成状況について

稲沢市観光まちづくりビジョンにおいて、計画最終年（2027年）の目標として掲げた指標に対する今年度の達成状況は下表のとおりでした。

## ■稲沢市観光まちづくりビジョン成果指標

項目	2017年 (基準値)	2019年 (実績)	2022年 (中間値)	2027年 (目標値)
年間観光入込客数	253.6万人 <sup>※1</sup>	262万人	350万人	500万人
稲沢市の「観光振興」に対する市民満足度 <sup>※2</sup>	31.2%	(28.8%)	↗	50.0%
稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合 <sup>※2</sup>	69.7%	(64.3%)	↗	80.0%

※1：愛知県観光レクリエーション利用者統計の数値（2,116,468人）にサリオパーク祖父江の利用者数（419,507人）を加えたもの。ただし、2016年中の数値。

※2：2017年は市政アンケート調査結果【2017年5月実施】、2019年は市政世論調査結果【2018年8月実施】による（隔年実施のため）。

## ■年間観光入込客数の推移

単位：(人)

観光レクリエーション 資源・施設	2016年	2017年	2018年	2019年
荻須記念美術館	41,815	53,411	57,542	50,711
尾張大國霊神社(国府宮)	1,054,754	1,006,431	1,374,182	883,849
国府宮はだか祭	80,000	150,000	195,000	250,000
稲沢桜まつり	9,200	4,500	4,000	8,000
いなざわ植木まつり	49,000	55,000	55,000	41,100
稲沢あじさいまつり	57,000	48,000	54,000	54,000
稲沢まつり	94,000	46,000	107,000	76,000
矢合観音	102,000	102,000	102,000	75,000
稲沢夏まつり	45,000	50,000	54,500	56,000
福祉まつり	5,179	5,429	4,998	4,930
そぶえイチョウ黄葉まつり	155,000	215,000	271,750	259,450
稲沢サンドフェスタ	35,000	44,000	51,000	開催中止
いなざわ梅まつり	22,000	23,000	25,700	25,000
善光寺東海別院	366,520	332,040	410,100	403,500
サリオパーク祖父江	419,507	416,061	435,263	417,871
稲沢イルミネーション	未計上	8,000	12,600	15,000
合計	2,535,975	2,558,872	3,214,635	2,620,411

## ■その他イベント、祭り、産直広場、施設への来訪者数（2019年）

単位：(人)

矢合観音節分祭（2月3日）	500人
へいわさくらまつり（4月6日）	7,000人
尾張の虫送り（7月6日）	300人

こがしまつり（7月27日）	2,000人
円光寺菘まつり（9月7日・8日）	200人
国分寺マルシェ（毎月3日）	8,000人
矢合十八番市（毎月18日）	1,100人
やわせ！てくてくスタンプラリー♪ くいなざわ観光まちづくりラボ企画> （3月3日）	27人
稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」 くいなざわ観光まちづくりラボ企画> （11月10日）	22人
明治なるほどファクトリー愛知	30,000人
メタウォーター下水道科学館あいち	85,188人
JA 愛知西産直広場 一色下方店	234,579人
JA 愛知西産直広場 下津店	136,363人
JA 愛知西産直広場 国府宮店	167,702人
JA 愛知西産直広場 大里店	118,817人

#### ■参考指標

項目	2018年度 （実績）	2019年度 （実績）	2022年 （中間値）	2027年 （目標値）
市内観光消費額 （一人当たり）	2,287円	2,602円※		4,000円

※：2019年11月調査時点

## 2 重点アクションプランの進捗状況について

### 「いなざわ観光まちづくりラボ」の推進



いなざわ観光まちづくりラボとは・・・

「いなざわ観光まちづくりラボ」は、稲沢市観光まちづくりビジョンに基づき、稲沢市の観光まちづくりを推進するため、2018年7月に設立された市民主体による実践組織です。

稲沢市観光協会がファシリテーターとなりながら、市民や民間事業者、関係機関・団体、行政等、地域づくりの担い手の方々や稲沢市に愛着を持ってみえる方々の活動や思いをつなげ、ネットワーク化を図ることで、それぞれの役割やノウハウを活かし合える環境を整備し、稲沢市の特色を活かした観光・交流事業の創出や魅力の再発掘・再構築に取り組んでいます。

## (1) ロードマップ

ロードマップ				
2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
立ち上げ・運営	事業の企画・実施	→ 自立に向けた検討		→

## (2) 2019年度の経緯・経過

### PickUp

- ✓ 組織運営面での自主性・自立性の向上を目指し、ラボの運営方法の見直しを行った。その結果、ラボのファシリテーターの役割を稲沢市観光協会とラボの中心メンバーが協働で担うことになった。
- ✓ ラボが「多様な主体の出会いと価値共創の場」となることを目指し、会議の開催方法の見直しを行った。その結果、今後の会議は、「運営会議」(ラボの運営方法を検討協議する場であり、全体会議で話し合うプロジェクトを提案・選定するための会議)と「全体会議」(プロジェクトに対してメンバー全員で意見を出し合い、実現性や発展性を高めるための会議)の2本立てで開催していくことになった。

### ① 会議等の開催状況

項目	開催日・会場	内容
リーダー会議	2019年5月8日	・今年度のラボの運営について
	稲沢市産業会館 2階・第1会議室	
ラボ会議	2019年6月4日	・今年度のラボの運営について
	稲沢市役所本庁舎 1階・大会議室	
第1回運営会議	2019年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方について</li> <li>・プロジェクト発表</li> <li>・プロジェクト選定</li> <li>・大澤 健氏（和歌山大学経済学部教授／いなざわ観光まちづくりラボアドバイザー）による講評</li> </ul>
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第1回全体会議	2019年8月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト協議</li> <li>① 稲沢農業ツアーリング事業</li> <li>② 稲沢初の「国宝」を誕生させるプロジェクト</li> </ul>
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第2回運営会議	2019年10月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト発表</li> <li>・ラボメンバーによるいなざわ魅力体験バスツアーの計画について</li> </ul>
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	

ラボメンバーによる いなざわ魅力体験バス ツアー	2019年11月9日	・ラボメンバーによる市内観光資源の体験見学と価値共有 (長光寺、祖父江のホタルを守る会実験田、善光寺東海別院、中華料理北京、稲沢フルーツ園、勝幡城跡)
	市内各地	
第2回全体会議	2019年12月24日	・事業の実施報告 ①ラボメンバーによるいなざわ魅力体験バスツアー ②稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第3回全体会議	2020年1月30日	・ラボの「のぼり旗」作成について ・「やわせ！てくてくウォーキング♪」の実施について ・ラボの規約について ・プロジェクト発表
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	
第4回全体会議	2020年2月20日	・今年度の振り返りと今後の計画について ・大澤教授による講評
	稲沢市産業会館 1階・大会議室	

◆その他グループ・メンバー間でミーティングを随時実施

■のぼり旗のイメージ



## ② プロジェクトの活動状況（2020年1月末時点）

### プロジェクト1 「稲沢まるごとイルミネーション」

稲沢市に縁のあるLEDを活用し、市民や企業等の連携により市内全体をイルミネーションで彩ることで、「冬の稲沢に人々が集う場所を作る」、「市民のまちへの愛着を増やす」、「市内へ通勤・通学する人々に稲沢市との接点を持ってもらう」ことを目指すプロジェクト。

#### 【2019年度の主な活動】

2019年11月16日～12月25日：国府宮参道をメイン会場として「2019稲沢イルミネーション」(第4回)を開催。  
期間中の来場者数は15,000人。

### プロジェクト2 「やわせ！てくてくウォーキング♪」 NEW

矢合地区内の文化財や名所を巡りながら楽しくウォーキングしてもらうことで、奈良時代から今日まで続く稲沢の古い歴史を体感してもらうプロジェクト。

#### 【2019年度の主な活動】

2020年3月8日：昨年度の「やわせ！てくてくスタンプラリー♪」に引き続き、いなざわ梅まつりの協賛イベントとして開催予定。

<ウォーキングスポット> 尾張国分寺跡、矢合の杜梅園、安楽寺(船橋)

### プロジェクト3 「つなごう つながろう 稲沢」

情報ポータルサイト「いいな ざわざわ」を通じて、市内各地に点在する稲沢の魅力を「発信」し「連鎖」させることで、稲沢の観光情報の集約を目指したプロジェクト。

#### 【2019 年度の主な活動】

新規掲載数:14 記事

登録記者(情報発信者)数:21 人

(※2019 年 12 月末時点)

## プロジェクト4 「稲沢グリーンツーリズム」 NEW

稲沢市の代表的な産業である植木をメインに、矢合観音をはじめとする矢合地区周辺の魅力を体感できるツアーを企画することで、地域内の経済効果を生み出し、稲沢市の活性化を図るプロジェクト。

### 【2019年度の主な活動】

2019年11月10日：矢合地区にて、稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」を開催。  
参加者22名(定員30名)。参加費一人当たり5,000円。



**稲沢グリーンツーリズム**  
**「植木畑の観察会」と**  
**「庭木を楽しむスワッグ作り」**  
**11/10 (日)** 愛知県稲沢市矢合町  
10:00～15:30

植木の四大産地に数えられる稲沢。木々の緑の中でマイナスイオンに包まれながら、注目の植木を栽培する農園スタッフが案内する観察会と人気ガーデナーが講師を務めるスワッグ作り体験がいっしょに楽しめます。

**【植木畑の観察会】**  
株式会社 園分農園  
日本自らの植木文化を中心に、海外から家庭用や商業用までを手掛ける、エスディアルガーデニア乳点部に毎年出展している。

**【スワッグ作り体験】**  
講師 弓削美香 (花デザイン会代表)  
スワッグとは花や葉を束ねて壁に付けるフラワーアレンジメント。【オリジナルな暮らし】暮らしに彩を。【テーマ】として作ります。

**参加費**  
1名様 (中学生以上)  
5,000円 (昼食、スワッグ代含む)  
定員30名 (先着)

**集合場所**  
ふれあいサロン＆ギャラリー-東郷堂前 (矢合観音寺境内)

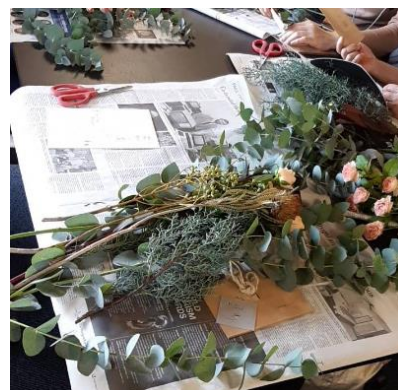
**集合時間** 午前10:00

**ツアースケジュール**  
10:00 園分農園にて乗車観察会  
12:00 門前屋にて特別ランチ  
13:30 スワッグ作り体験  
14:30 矢合観音開成寺敷地  
または近隣の農産店でお買い物 (500円分の割引チケット付き)

**アクセス**  
名鉄IC1 (名鉄岡崎駅)より約15分  
【矢合観音前】下車  
お車の方: 近隣のバス停から徒歩  
ご利用ください

**MAP**

**ご予約・問い合わせ**  
TEL 080-8260-7238  
FAX 0587-36-2374  
E-mail inazawa1@gmail.com  
いなざわ観光まちづくり協議会  
緑と歴史もある稲沢グループ



## プロジェクト5 「稲沢農業ツアーリング事業」 NEW

市内にある特徴的な農園を回るバスツアーを企画することで、稲沢市の多彩な農業を市内外の人々に知ってもらおうとともに、農業支援に繋げるプロジェクト。農園同士の連携によるイノベーション創出と新たな6次製品の開発の契機となることを目指す。

### 【2019年度の主な活動】

2019年11月9日：ラボメンバーによるいなざわ魅力体験ツアーで祖父江のホテルを守る会実験田と稲沢フルーツ園を見学(農園主等によるガイド付き)。プロジェクトの実施に向けて、メンバー間で資源の持つ魅力と価値の共有を図った。





## プロジェクト6 「稲沢市初の『国宝』を誕生させるプロジェクト」

NEW

市民、関係団体、行政が一体となり、重要文化財(当初候補:長光寺の「鉄造地藏菩薩立像」と「地藏堂」)の『国宝』指定に挑戦することで観光まちづくり活動の具現化を図り、シビックプライドの醸成と「歴史・文化都市 稲沢」の価値向上を目指すプロジェクト。

### 【2019年度の主な活動】

2019年8月22日: ラボメンバーで長光寺を見学(稲沢市ふるさとガイドの会によるガイド付き)。

2019年11月9日: ラボメンバーによるいなざわ魅力体験ツアーで長光寺を再訪(住職等によるガイド付き)。プロジェクトの実施に向けて、メンバー間で資源の持つ魅力と価値の共有を図った。

その他: 関係者へのヒアリングを随時実施



## プロジェクト7 「いなざわ観光まちづくりラボ共同企画 ローズ倶楽部イベント」

NEW

名古屋のシニア活動団体「ローズ倶楽部」が主催するイベントを「いなざわ観光まちづくりラボ」と提携して年4回実施することで、稲沢市への観光誘客に繋げるプロジェクト。

※ローズ倶楽部とは、(株)中日メディアブレンが毎月発行するシニア向け中日新聞折込み情報誌「ローズ」(名古屋市内で約51万部発行)の読者会員組織。会員数は約1,200名で、年間120回のイベント、講座を主催している。

## 【2019年度の主な活動】

2020年2月4日：「重要文化財『汗かき地蔵』のミステリーと矢合観音」を開催予定。  
定員 20名。参加費一人当たり4,000円。

ローズ倶楽部 2020年 1-2月号 イベント

**いざなわ観光まちづくりラボ共同企画  
重要文化財『汗かき地蔵』のミステリーと矢合観音**

稲沢市長光寺には国宝級の重要文化財、六角地蔵堂と鑄鉄製の地蔵があります。地元で「汗かき地蔵」として知られる鑄鉄製の地蔵がなぜこの地に多数存在するのか、若き信長が愛飲したとされる井戸「臥松水」の謎と共にご住職からお話しを伺います。昼食の後は高名な矢合(やわせ)観音のお水取りと観音様拝観。長光寺も矢合観音も熟練したガイド付きです。

**昼食 美寿吉**

**定員 20名**  
**参加費 4,000円(会員)、4,500円(同伴者)**  
**受付場所 JR清洲駅改札出口 9:00-9:10**

写真提供-長光寺

## 🌸 その他進行中のプログラム

### プロジェクト8 「尾張国分寺跡&矢合から 歴道ウォーク」

“奈良時代の尾張国分寺跡”、“鎌倉時代の矢合の植木”、“江戸時代的美濃路”といった市内の史跡を巡る「歴道ウォーク」イベントを企画することで、歴史を通じて稲沢市の魅力を発信していくプロジェクト。

### プロジェクト9 「『稲沢・サリオパーク祖父江』を世界へ！」

稲沢市の魅力の一つである「サリオパーク祖父江」をフィールドとして、スポーツや自然体験を通じて地域の活性化を図るプロジェクト。

## (3) 成果指標の達成状況

成果指標				
項目	2017年度	2018年度	2019年度※2	目標値(2022年度)
メンバー数	31※1	52	55	100
プロジェクト実施数	0	4	9	10

※1：稲沢市観光基本計画アクションプラン検討会議のメンバー数

※2：2020年1月末時点

### 3 アクションプランの進捗状況と今後の方針について

- ▶ 別添「稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）アクションプラン進捗状況【2019年度実績】」のとおり。

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）アクションプラン進捗状況【2019年度実績】

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針（課題を踏まえて）
基本方針1 観光まちづくりを主体的に推進する人材育成と体制整備							
1	① 観光まちづくりに対する市民意識の醸成	<p>◆観光まちづくりへの市民の理解を深め、地域が一体となった受入体制の気運を高めるため、観光PRポスターやチラシ等を作成し、市内公共施設、主要集客施設、イベント、展示会場等、市民が多く目に触れる場所に掲示し、広く周知を図る。</p> <p>◆観光まちづくりに主体的に取り組む方々の活動情報を発信する方を構築するとともに、活動者自らが積極的に情報発信できるよう支援していく。</p>	<p>観光PRポスターやチラシ等の作成</p> <p>活動内容の情報発信</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1～3年)</p> <p>短期 (1～3年)</p>	<p>【市①】 信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を新たに作成した。誌面づくりに当たっては、各資源の概要や基本情報だけでなく、その背景にある「ものがたり」(歴史や文化、関連人物など)を掘り下げて取材するとともに、市民へのヒアリング、「勝幡城跡」のPRに努める市民グループや地域の歴史関係者との協働作業に努めた。また、完成後の冊子は市外のみならず、市民にも積極的に配布することで、地域資源の再認識に基づくシビックプライドの醸成を目指した。</p> <p>【市②】 名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージにおいて、稲沢市の観光PR映像を引き続き放映し、駅を利用する市民や通勤・通学者を対象に、本市の魅力の再認識と愛着の醸成、また来訪者に対しては観光資源への誘導を目指した。</p> <p>【市・市観光協会】 市外の方のみならず、市民にも稲沢市の観光資源について理解を深めてもらうため、稲沢市観光ガイドマップ、稲沢市観光ガイドブックの改訂版を発行し、市内でも広く配布した。</p> <p>【市観光協会】 市観光協会の公式Webサイトリニューアルに合わせて、サイト内にラボの紹介ページを設けた。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボメンバーが中心となって運営する情報ポータルサイト「いなざわざわ」において、ラボメンバーが主催するイベントや市民が自ら取材して入手した稲沢市の隠れた魅力・スポット等について随時情報発信した。</p>	<p>【市・市観光協会】 引き続き「るるぶ特別編集 稲沢市」やデジタルサイネージ等を活用した啓発に努めるとともに、今年度作成した「信長と稲沢」を最大限活用し、市民や地域を巻き込んだ武将観光事業と市民が主体となった観光まちづくり活動への展開を目指す。</p> <p>【市観光協会】 市観光協会の公式Webサイト内に設置したラボのページは「ラボとは何か」を紹介するのみで、「どういった活動をしているのか」までは具体的に発信できていない。「いなざわざわ」のリンク貼付や掲示板機能の追加、SNSとの連携など、観光まちづくりに取り組む市民の情報発信・情報共有ツール、また新たな市民を巻き込むための仕掛けとして有効活用できるよう、ページ内容を充実させていくことが必要である。</p>
1	② 観光まちづくり推進体制の整備	<p>◆観光まちづくりを持続的に推進していくための推進組織として、稲沢市観光協会をファシリテーターとし、市民、事業者、団体等の多様な関係者による協働ネットワークで構成される観光まちづくりプラットフォーム「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」を設置する。</p>	<p>「いなざわ観光まちづくりラボ」の立ち上げ</p> <p><b>重点アクションプラン</b></p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1～3年)</p>	<p>【市観光協会】 2018年7月4日に「いなざわ観光まちづくりラボ」を設置。 (設立時メンバー数：46名) (設立時プロジェクト数：4プロジェクト)</p>	-
1	③ 観光協会の組織・機能強化	<p>◆稲沢市観光協会が持続的な観光まちづくりを推進する上で中核を担える存在となるよう、事業内容の整理や職員の適正配置、行政や関係機関・団体との連携を強化することで組織体制の充実を図る。</p> <p>◆「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」のファシリテーターとして、市民との協働によって地域の多様な魅力を掘り起こし、プロジェクトの企画立案を実践(アクション)につなげていく。</p> <p>◆本市ならではの観光メニューを活かした誘客促進を図り、適切な集客・販売ルートにより地域経済の活性化に向けた仕組みを構築する。</p> <p>◆ターゲットを絞った戦略的な観光プロモーションを展開し、本市への来訪意欲を促すことで、消費意欲の喚起を図っていく。</p> <p>◆効果的な自主事業の展開により収入と会員の増加を図り、自主財源を確保することで経営基盤を強化し、将来的に旅行業資格の取得及び法人化移行による独立採算経営の可能性について検討していく。</p>	<p>「いなざわ観光まちづくりラボ」の運営</p> <p><b>重点アクションプラン</b></p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1～3年)</p>	<p>【市観光協会①】 組織運営面での自主性・自立性の向上を目指し、ラボの運営方法の見直しを行った。その結果、ラボのファシリテーターの役割を稲沢市観光協会とラボの中心メンバーが協働で担うことになった。また、ラボが「多様な主体の出会いと価値共創の場」となることを目指し、会議の開催方法の見直しを行った。その結果、今後の会議は、「運営会議」と「全体会議」の2本立てで開催していくことになった。</p> <p>【市観光協会②】 年間を通じてラボ会議を計8回開催した。また、10月9日にはメンバーから新たに提案された観光まちづくりプロジェクトについて全員の理解度を高めるため、市内各地の観光資源を巡る視察バスツアーを行った。その他、ラボの運営ルールとなる規約と活動PRツールとなる幟旗の作成も現在進めている。 (1月末時点メンバー数：55名) (1月末時点プロジェクト数：9プロジェクト)</p>	<p>【市】 国の地方創生推進交付金を活用し、「いなざわ観光まちづくりラボ」による観光まちづくり事業として、ラボの運営を資金面で支援していく。 (2020年度当初予算：2,000千円計上)</p> <p>【市観光協会①】 一部のラボプロジェクトは具体的に実施されつつあるので、それらをさらに強化し、継続的・発展的に取り組んでいけるよう必要な支援に努めていく。また、先進した取組に触発されたラボメンバーが一歩踏み出し、具体的な行動へと展開していけるよう、相談機能の充実にも努めていきたい。</p> <p>【市観光協会②】 ラボの活動を積極的に情報発信することで新たなメンバーの参加を促し、常に新鮮な発想のもとで活力ある活動ができるよう導いていく。また、活動を進めていく上で地域との関わりは必要不可欠なため、積極的な情報交換に努め、既存のまちづくり活動も巻き込んだ展開を目指していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			関係機関・団体と連携した観光メニューの創出	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市観光協会】 愛知県植木センターと連携して「いなざわ梅まつり」を2020年3月7日、8日に開催。周辺の「メタウォーター下水道科学館あいち」や矢合地区に新たに整備された「矢合の杜」の梅園等を巡る周遊コースを設定し、点から線へと観光メニューの充実を図った。	【市・市観光協会①】 市民や市内の関係機関・団体だけでなく、他地域の観光協会、名古屋鉄道や中日新聞社等、地域の観光事業者とも連携し、稲沢市の特色を活かした魅力ある観光メニュー(特に体験型)の創出を図っていく。  【市・市観光協会②】 信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(一宮市、津島市、清須市、愛西市など)と連携した武将観光メニューの創出により、相乗的な観光誘客を目指す。
			観光協会における職員適正配置	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	【市観光協会①】 愛知県(県職員市町村サポーター制度)からの提言を受けて、旅行業の従事経験があり、観光を活用した地域活性化事業に精通した人材1名を選定の上、7月から10月の間アドバイザー契約を締結し、次年度における事業計画の検討及び職員募集要項(募集人材の整理を含む。)の作成について必要な支援を仰いだ。  【市観光協会②】 アドバイザーの支援の下作成した募集要項に基づき、12月1日から27日までの間、「観光やまちづくりに対し専門的知見と情熱を有し、地域の活性化に向けた事業を推進する実行力のある人材」1名を募集した。	【市観光協会】 2020年4月1日付けで観光コーディネーター1名を新たに採用する。新職員には、①いなざわ観光まちづくりラボの運営サポート、企画の実現化に向けたコーディネート業務、②関係機関・団体と連携した観光メニューの創出、③公式Webサイトを活用した情報発信の強化、④新たな観光ルートや広域観光ルートの創出、⑤マーケティング分析に基づいた戦略的な観光プロモーションの実施を主とし、稲沢市観光まちづくりビジョンの具現化に取り組む中心的存在として業務に当たっていただく。
			適切な集客・販売ルートの拡充	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	中期 (3~5年)	【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を12月20日、21日の2日間、パシフィコ横浜で開催された日本最大の城郭イベント「お城EXPO 2019」で重点配布したほか、県内外の観光施設、城郭・歴史関連施設にも設置した。  【市・市観光協会】 あいちの旅行商談会(東京会場)への参加を始めとする愛知DCアフターキャンペーンの取組を通じて、他では観ることができない貴重な観光資源として「祖父江のイチョウ黄葉」を旅行事業者に対して重点的にPRし、旅行商品の造成を働きかけた。  【祖父江町商工会】 そぶえイチョウ黄葉まつりのPRキャラバンに際し、従来の報道機関に加え、新たに名阪近鉄バス本社と名鉄観光バス本社を訪問し、ツアー旅行商品の造成を働きかけた。この結果、今年度の「そぶえイチョウ黄葉まつり」には県内外から259,450人(観光バス50台・1,573人を含む。)が来場し、大変な賑わいを見せた。	【市・市観光協会】 県内外で開催される観光商談会や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、本市の観光素材を積極的に売り込み、新たな旅行商品の造成を促していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			戦略的な観光プロモーションの実現	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	<p>【市①】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を12月20日、21日の2日間、パシフィコ横浜で開催された日本最大の城郭イベント「お城EXPO 2019」で重点配布したほか、県内外の観光施設、城郭・歴史関連施設にも設置した。なお、近日中に当冊子を紹介する特設Webサイトを開設し、歴史愛好家や信長公を始めとする武将愛好家をターゲットにWeb広告を活用した誘導・拡散策を講じる予定である。</p> <p>【市②】 今後の観光プロモーション活動に活用するため、クリアファイル2種類(観光資源紹介バージョン・信長公生誕地バージョン)作成する。</p> <p>【市・市観光協会・県観光協会】 愛知県観光協会へ本市の観光情報を積極的に提供し、多数のアクセス数を誇る愛知の公式観光Webサイト「Aici Now」や愛知の旅まるごとマガジン「旬感観光あいち」を活用した観光PRを行った。</p> <p>【市・市観光協会・県・交通事業者】 愛知県、JR東海との連携により愛知DCアフターキャンペーン企画・観光列車を実施し、遠方から訪れた乗客に対して車中で祖父江のイチヨウ黄葉や銀杏、国府宮はだか祭を始めとする本市の観光資源をPRした。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 各祭りでキャラバン隊を編成し、報道機関を訪問して重点的な宣伝PR活動を行った。また、愛知DCアフターキャンペーンの取組を通じて、祖父江のイチヨウ黄葉を始めとする観光情報の発信に積極的に努めた結果、様々なメディアからの問合せや取材、番組出演オファーが大きく増えた。</p>	<p>【市・市観光協会①】 「信長と稲沢」を効果的に活用し、「お城EXPO」をはじめとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、2019年度に設立された「愛知のお城推進協議会」への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携してお城観光を推進し、「信長公の生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを積極的に展開する。</p> <p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 県内外で開催される観光商談会や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、本市の観光素材を積極的に売り込み、新たな旅行商品の造成を促す。 また、愛知県が設立する「愛知・名古屋観光誘客協議会(仮称)」を通じて、県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)と密な連携によるPR・プロモーション施策を展開し、本市への観光誘客につなげていく。</p> <p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会】 ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる国府宮はだか祭「なおい特別棧敷券」や本市特産品のPRIに努めることで、本市の観光資源の魅力を全国に発信していく。</p>
			自主事業の推進による独立性の確保	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市観光協会】 稲沢市マスコットキャラクター「いなッピース」等の販売による収益確保に努めた。	【市観光協会】 会員数の更なる確保、ウェブサイトのバナー広告収入等により、自主財源の確保を目指す。
			法人化移行の検討	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市・市観光協会】 先行地域の調査研究を引き続き進めた。	【市・市観光協会】 稲沢市観光まちづくりビジョンに位置付けられた市観光協会の役割を果たしていくために組織として何が必要かを検討していく中で、法人化の必要性について慎重に見定めていく。
1	④ 観光受入体制(おもてなし環境・おもてなし体制)の整備	<p>◆国内外からの来訪者に対応するため、行政、市民、観光関係者が連携して、「おもてなし意識」の醸成や観光関連施設等の「おもてなし環境」を整備する。</p> <p>◆おもてなしの第一線で活躍する観光人材の育成に向けて、本市の歴史や文化、ガイドとしての心得等を学ぶ観光ボランティアガイド育成講座を継続的に開催するほか、市民や観光事業者が本市の魅力やおもてなしの作法等を学ぶことができる「おもてなし」講座や研修会を開催する。</p> <p>◆情報提供や人の交流などの機能を持ったおもてなしの施設づくりも併せて検討し、来訪・交流人口の拡大とリーダーの確保を図る。</p>	観光ボランティアガイドの育成及び主体的な活動の支援	市観光協会	短期 (1~3年)	<p>【市観光協会①】 2017年からの愛知DCの取組効果もあり、旅行事業者等から「祖父江のイチヨウ黄葉」に対する現地ガイドの要請が殺到し、ガイド要員の増員が急務となったため、育成のための研修会や体験会を実施した。6月30日、31日にはイチヨウの生育に関する現地研修会、10月3日、8日、11月6日にはイチヨウの果実や黄葉に関する現地研修会を行い、知識の取得とガイド能力の向上を図った。 なお、現地訪問を繰り返し協議する中で、銀杏生産者や天然記念物に指定されている銀杏所有者の方々と観光客の見学にも協力していただけるような良好な関係を築くことができた。</p> <p>【市観光協会②】 9月3日に三重県関市の関宿観光ボランティアの会を訪問し、会の運営や観光ガイドの手法について学んだ。</p>	【市観光協会】 来年度以降も引き続き「祖父江のイチヨウ黄葉」に対する現地ガイドの要請が多数見込まれるため、入念なガイド研修機会(5月~11月実施)をさらに設けるとともに、市内の関係団体や大学にも働き掛けて新たなボランティア参加者の確保を図る。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			「おもてなし」講座や研修会の開催	市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会】 観光ボランティア1名が愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」へ参加し、交流活動を通じて他地域の観光関係者から参考となるおもてなし手法を学んだ。	
			観光案内看板や施設内誘導看板などの整備	市(商工観光課)	短期 (1～3年)	【市①】 赤染衛門歌碑公園内の案内看板を経年劣化のため修繕した。また、市内主要4駅・市役所北玄関前の観光案内板6基と美濃路街道案内板2基について多言語表記(英語・中国語(簡体字)・韓国語)に改めた。  【市②】 「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備に合わせて、施設内に当地を紹介する案内看板を設置する(2020年4月オープン予定)。	【市】 勝幡城跡への案内看板及び路面標示案内シート(多言語表記)を新たに設置する。
			文化財の案内看板の拡充	市(生涯学習課)	短期 (1～3年)	実施なし	【市】 引き続き文化財所有者とも協力し、文化財標柱等の適切な維持・管理に努めるとともに、必要に応じて修繕等を行う。 また、市指定史跡「勝幡城跡」を観光資源として活用するため、関係部署と協議し、案内看板を設置する。
			観光パンフレット設置場所の充実	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を県内外の観光施設、城郭・歴史関連施設に幅広く設置した。また、市内の公共施設や掲載施設・店舗のほか、鉄道駅等にも設置し、市民や稲沢市を訪れた人々が目にする機会を多く設けた。	【市・市観光協会】 「信長と稲沢」や「るるぶ特別編集稲沢市」を始めとする稲沢市の観光PRツールを多くの人に見てもらい、来訪又は周遊のきっかけにもらうため、既存の設置場所を維持しつつ、新規拡充も図っていく。
			デジタルサイネージの設置と活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市】 稲沢市の主要玄関口である名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に向けて本市の観光情報(観光PR動画、祭り・イベント情報など)を積極的に発信した。	【市・市観光協会】 名鉄国府宮駅のデジタルサイネージを活用した観光情報(観光PR動画、祭り・イベント情報など)の発信を引き続き積極的に行い、市内観光資源への誘導を目指す。 また、効率的かつ効果的な運用に向けて、運用要領の策定と合わせて当媒体を活用した民間有料広告(広告料収入)の導入についても検討していく。
			観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	中期 (3～5年)	【市】 名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージの周辺エリアに、無料公衆無線LANスポット「INAPPY FREE Wi-Fi」を整備した。  【祖父江町商工会】 そぶえいチョウ黄葉まつりの開催期間中、会場内(祐専寺)に無料Wi-Fiスポット設置した。	【市】 毎年多くの観光客が見込まれる祭り・イベントでの来場者サービスの一環として、会場内に臨時的な無料Wi-Fiスポットを設置し、リアルタイムな観光情報の拡散を促すことで、更なる観光誘客につなげる。
			まち歩きアプリの活用	市観光協会	中期 (3～5年)	未実施	【市観光協会】 実施に向けて検討していく。
			観光案内所の設置検討	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市・市観光協会】 具体的な検討に至らず。	【市・市観光協会】 具体的な検討を進めていく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
1	⑤ 外国人観光客の受入体制の整備	<p>◆外国人観光客の観光ニーズは多様であり、国籍・文化・宗教等によりきめ細かな対応や受入側の理解が必要になるため、本市の持つ地域資源や文化に対して関心が高い国や属性等について、各種調査等を通じて継続的な把握に努める。</p> <p>◆多言語表記の観光案内看板の設置や多言語に対応した案内ボランティアの研修等を実施する。</p>	<p>各種調査等による外国人観光客の実態把握</p> <p>多言語表記の観光案内看板や施設内誘導看板などの整備</p> <p>多言語観光ボランティアガイド育成の検討</p> <p>飲食店や宿泊施設などにおける多言語表記の啓発</p> <p>まち歩きアプリと多言語ガイドブックの活用</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課)</p> <p>市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者</p> <p>市観光協会</p>	<p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p>	<p>未実施</p> <p>【市】 市内主要4駅・市役所北玄関前の観光案内板6基と美濃路街道案内板2基を多言語表記(英語・中国語(簡体字)・韓国語)に改めた。</p> <p>【市観光協会】 市観光協会の公式Webサイトを多言語対応が可能なページへとリニューアルした。</p> <p>【祖父江町商工会】 そぶえイチョウ黄葉まつりに来場する外国人観光客に対応するため、多言語案内看板の設置や多言語対応可能なホームページの開設等を行った。</p> <p>【市観光協会】 外国人観光客に対応するため、愛知県が開設した「愛知県多言語コールセンター」(電話通訳サービス)への登録を行った。</p> <p>未実施</p> <p>【市・市観光協会】 稲沢市観光ガイドブックの英語版について、内容更新を含む改訂版の発行を行った。</p>	<p>【市・市観光協会】 具体的な調査方法を検討し、可能であれば試行実施する。</p> <p>【市】 勝幡城跡への案内看板及び路面標示案内シート(多言語表記)を新たに設置する。</p> <p>【市観光協会】 公式Webサイトのコンテンツ充実にも努めるとともに、外国人観光客を意識したページづくりにも取り組んでいく。</p> <p>【祖父江町商工会】 来年度以降も外国人観光客を視野に入れた取組を実施していく。</p> <p>【市観光協会】 稲沢市国際友好協会との連携による外国人向け観光ボランティアの育成を目指す。</p> <p>【市・市観光協会】 啓発方法について検討していく。</p> <p>【市・市観光協会】 稲沢市観光ガイドブックの多言語化(英語版以外の発行)について検討していく。</p>

基本方針2 稲沢市の魅力を体感でき、様々な分野や人をつなぐ観光・交流メニューの創出

2	① 地域資源の活用と新たな観光資源の発掘	<p>◆従来の観光資源(国府宮はだか祭をはじめとした祭り・イベント、桜、アジサイ、イチョウ黄葉等)に加え、自然、文化、歴史、産業、環境、健康、スポーツなどの様々な地域資源を掘り起こし、これらを活用し、つなぎ、磨き上げることによって、年間を通じて本市の魅力を体験できる着地型観光メニューを創出していく。</p> <p>◆メニューの創出にあたっては、各地域資源の歴史的背景やこだわりを“ヒト”との交流により伝えていくことで、新たな付加価値を生み出し、満足度の向上を目指す。</p>	既存イベントにおける連携強化	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 市民団体	短期 (1～3年)	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 引き続き祭り・イベント間の情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客につなげていく。</p> <p>【市観光協会①】 稲沢グランドボウルで開催されたボウリングの全国大会(6月23日開催)の全日本シニアボウリング大会、8月4日開催の全国小学生ボウリング大会)と市外からの参加者も多い稲沢シティーマラソン(11月10日開催)に出店し、特産品販売とパンフレット等による稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市観光協会②】 国府宮はだか祭(2月6日開催)の来場者に対し、市内の農業生産者の協力の下、会場付近の商店街の空きスペースを利用して特産品の宣伝販売を実施する。</p> <p>【祖父江町商工会】 そぶえイチョウ黄葉まつり(11月23日～12月1日開催)において、イチョウの木コースター作り・銀杏試食コーナー等の実施による地域資源のPRと、地元商店の出店や企業展による地域産業を知るきっかけづくりを行った。また、今年度は商店街活性化・観光消費創出事業(国補助金制度)を活用して、地域主体の下、地元企業・各観光拠点・市と連携し、観光拠点及び地元商店を巡る「黄葉スタンプラリー」を実施。観光客の回遊性の向上と恒常的かつ持続的な消費活動の創出に取り組んだ。さらに、伴走型小規模事業者支援推進事業(県補助金制度)を活用して、まつり終了後に「おもてなし展示即売会」を祐専寺で開催。まつり開催期間に来られなかった来場者に対して銀杏販売や特産品販売を行うとともに、地元店舗のPR活動に努めた。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 国府宮参道で開催した稲沢イルミネーション(11月16日～12月25日開催)において、「国分寺マルシェ」、「星川楽器」を始めとする市内活動団体と連携したイベント企画を実施し、幅広い集客につなげた。</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 引き続き祭り・イベント間の情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客につなげていく。</p> <p>【市観光協会】 観光イベントに限らず、市外からの参加が見込める市内各種イベント(スポーツ大会など)にも出店し、本市の特産品や観光情報のPRを行っていく。</p> <p>【祖父江町商工会】 今後も、そぶえイチョウ黄葉まつりを開催するとともに、各種補助金制度を活用した事業を展開し、広く自然・産業を知るためのきっかけづくりと稲沢市のPRに努めていく。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 今後も市内で活動する団体等とイベント企画を始め、幅広く連携を取りながら事業を展開していく。</p>
---	----------------------	--	----------------	---	--------------	---	--



NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			地域資源の掘り起こしと活用方法の検討	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体 市民個人	中期 (3~5年)	<p>【市】 旧美濃路の稲葉宿本陣跡地に、まち歩きの際に立ち寄ることができ、地域交流を図ることができる街道観光の拠点施設として、「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」を整備した(2020年4月オープン予定)。</p> <p>【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 「(仮称)イチョウ見本園」の整備に向けて、2018年度に基本計画及び整備予定地の実施測量等を完了させた。2019年度はトイレ等を始め公園として供用を行うための設備等について設計を行い、併せて整備予定地の用地取得を開始した。 なお、見本園の名称の公募を行った結果、北は北海道、南は福岡県まで計193名称の応募があったため、「(仮称)イチョウ見本園整備計画検討会」において選考を行う。</p> <p>【祖父江町商工会】 地域資源「イチョウ・銀杏」を活用した通年型商品の開発を検討するため、そぶえイチョウ黄葉まつりで銀杏を粉末化し、抹茶・ショウガなどとブレンドしたイチョウブレンド茶の試飲モニタリング調査を実施した。</p> <p>【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者】 祖父江ぎんなんブランド推進協議会のメンバーとして、祖父江ぎんなんブランドを県内外に広くPRするための協議及び活動を行った。</p> <p>【市・国・県・市民団体】 サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて、「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、当地の特色を活かした多様なイベント企画を展開した。</p>	<p>【市】 「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」のオープンに加え、2020年度は本市が美濃路街道連携協議会の幹事市となることから、地域及び関係市町村との連携の下、美濃路パネル展や美濃路ウォーク等の街道観光事業を展開する。</p> <p>【市・市観光協会】 サリオパーク祖父江で既に実施されているアクティビティイベントについて、観光メニューとしての活用を図る。</p> <p>【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 「(仮称)イチョウ見本園」について、整備予定地の用地取得が完了次第、工事に着手し、2021年4月の供用開始を目指す。完成後は、祖父江ぎんなんブランドの更なる向上とともに、「そぶえイチョウ黄葉まつり」の会場活用を始め「銀杏・歴史・健康」などをテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを目指す。</p> <p>【祖父江町商工会】 地域資源「イチョウ・銀杏」の更なる掘り起こし、高齢化・後継者不足による生産者減少の食い止め、銀杏の小粒化・不作を補完する通年型商品開発への対応に努めていく。その中で、イチョウブレンド茶については、2019年度に実施した試飲モニタリング調査の結果を基に、今後の商品化を目指していく。 また、「イチョウ・銀杏」を広くPRできるよう、引き続き各団体と広く意見交換を実施していく。</p> <p>【市・国・県・市民団体】 「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、3公園の特色を活かした多様なイベント企画を通年で展開していく。</p>
			着地型観光メニューの創出	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体	中期 (3~5年)	<p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボ主催で稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」を開催(2019年11月10日)。稲沢市の代表的な産業である植木をメインに、矢合観音をはじめとする矢合地区周辺の魅力を体感できるツアーを実施し、今後の観光メニュー化につなげた。</p>	<p>【市・市観光協会・寺社・農商工業者・市民団体】 サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験や農園見学・収穫体験など、個々に実施されているものの観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、その整理を行うとともに、「いなざわ観光まちづくりラボ」との協働により、新たなメニューの創出に取り組む。</p>
			国府宮はだか祭体験参加プログラムの検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 寺社 市民団体 市民個人	中期 (3~5年)	<p>【観光事業者】 市内の宿泊施設「お宿 和陽館」が地縁の無い人や初参加者を対象とした国府宮はだか祭参加プランを提供する。</p>	<p>【市・市観光協会】 「お宿 和陽館」が提供する国府宮はだか祭参加プランについて、各種広報媒体を通じて情報発信していく。他の実施方法についても、引き続き研究していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	② 観光ルートの創出・ストーリーづくり	◆年齢、性別、グループといった基本属性、テーマ、季節など、マーケットのニーズに応じて様々な観光資源をつなげたモデルルートを創出する。	サリオパーク祖父江と善光寺東海別院等の周辺施設を組み合わせた観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	未実施	【市観光協会】 5月上旬にサリオパーク祖父江近隣にある王子板紙工場外周のツツジ(稲沢市景観地50選の一つ)が見頃を迎えるので、サリオパークと善光寺東海別院、祖父江ふれあいの郷(天然温泉)を合わせて巡るツアーを企画検討する。
			自然と歴史文化を組み合わせた観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の中で、信長公ゆかりの地と「平和桜ネットワーク」、「祖父江のイチョウ黄葉」、「性海寺のあじさい」を組み合わせた観光ルートを設定の上、紹介した。  【市・市観光協会】 「そぶえイチョウ黄葉まつり」のPRに際し、荻須記念美術館、善光寺東海別院、銀杏料理店等々を組み合わせた観光ルートを設定し、旅行事業者等に紹介した。  【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 「いなざわ梅まつり」の開催に合わせて、矢合地区内の文化財や梅園等の名所を巡りながら楽しくウォーキングしてもらおうイベント「やわせ！てくてくウォーキング♪」をラボ主催で実施する。  【平和町商工会・市民団体(いなざわ観光まちづくりラボ)】 「へいわさくらまつり」の開催に合わせて、ラボメンバーが所属する活動団体「ヒストリアへいわ」が「耳順」ウォーキングinさくらまつりと題して、まつり会場と勝幡跡、屯倉社を巡る歴史ウォーキングイベントを実施した。	【市・市観光協会】 観光ルートの設定後に十分な利活用が図られていない現状があることから、市観光協会の公式サイトで掲載紹介し、来訪者のサービス向上と観光関係者の2次活用につなげる。 また、テーマやストーリーを持った新たな観光ルートの設定にも引き続き取り組んでいく。
			JAFと連携したドライブルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	短期 (1～3年)	【市】 JAFとの観光連携協定を活用して「稲沢あじさいまつり」で「あじさい茶会」JAF割引を実施し、JAF会員である自動車ユーザーの誘客につなげた。	【市・市観光協会】 JAFとの観光連携協定を活用し、新たな周遊ドライブコースの設定及びJAF広報誌等での観光資源のPRに取り組む。
			武将観光ルートの創出	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の中で市内の信長公ゆかりの地を巡る観光ルートを紹介した。	【市・市観光協会①】 勝幡城推定復元模型と信長親子像を有する愛西市を始め、一宮市、津島市、清須市など信長公ゆかりの資源を有する近隣市町と連携した新たな観光ルートを創出することで、相乗的な観光誘客を目指す。  【市・市観光協会②】 信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を活用し、市内の信長公ゆかりの地を巡るスタンプラリーをイベント的に実施することで、新たな観光誘客につなげるとともに、観光客の周遊性の向上を目指す。
			市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 農商工業者	中期 (3～5年)	【市観光協会・農商工業者】 いなざわ梅まつりや名鉄ハイキング等の特定イベント時に、「明治なるほどファクトリー愛知」、「メタウォーター下水道科学館あいち」、「椿園」「バラ栽培農家」と連携した観光ルートを設定し、市内周遊性を高めた。  【平和町商工会・農商工業者】 へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施し、来場者に桜ネットワークと一緒に巡る観光ルートを提供した。	【市観光協会・農商工業者】 過去に連携実績のある「椿園」「しょうが屋木村」を始め、市内の企業・事業者等と協力して体験型の観光ルートの創出を図る。  【平和町商工会】 へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度も同様に計画しているが、来訪者数の増加が予想され、駐車場の確保が課題となっている。
			近隣市町と連携した広域周遊ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の中で、本市の指定文化財「勝幡城跡」周辺と、愛西市の勝幡城推定復元模型及び信長親子像を結ぶ信長公ゆかりの地ルートを設定し、紹介した。  【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加したラボメンバー(市観光協会ボランティア)が、大府市や江南市の観光関係者と共に「愛知の花」をテーマにした企画「花手箱 生活に花を！愛知癒しの花バスツアー」を発表した結果、ゼミ内で最優秀を獲得した。コース内には友松園芸でのバラ農園見学と昼食会場として「しろ石」での銀杏料理が組み込まれた。	【市・市観光協会】 美濃路街連携協議会の加盟自治体や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(一宮市、津島市、清須市、愛西市など)と協力して、特定のテーマを持った新たな広域周遊ルートの創出を目指す。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	③ 武将観光の推進	<p>◆織田信長の生誕地説が有力である勝幡城を核とし、武将観光イベント等への参加を通じて「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」として本市の魅力国内外に積極的にPRする。</p> <p>◆取り組みに際しては、有識者や歴史文化の保全・PRに取り組む地域の方々、武将観光を推進する愛知県や他自治体とも連携を強化し、事業を推進していく。</p>	<p>武将観光関連イベントへの出展・PR</p>	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	短期 (1~3年)	<p>【市・市観光協会】 12月20日、21日の2日間、パシフィコ横浜で開催された日本最大の城郭イベント「お城EXPO 2019」に、愛知県合同出展ブース内「三英傑ゆかりの城・勝幡城」として出展参加。信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の配布や勝幡城パネル等によるPRのほか、勝幡城信長出生説の発表者・石田泰弘氏(愛西市佐織公民館長/学芸員)による「織田氏と勝幡城」と題したミニ講演会も実施した。</p>	<p>【市・市観光協会】 「お城EXPO」だけでなく、県内の武将観光・城郭観光イベントにも積極的に参加する。また、「信長と稲沢」の活用に加え、信長公と勝幡城を前面に押し出した啓発活動資料や販売グッズを新たに作成し、市民や地域の歴史関係者とも連携したインパクトのあるPR活動に取り組んでいく。</p>
			「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」 プロモーション事業	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	中期 (3~5年)	<p>【市】 織田信長公と稲沢市との繋がりが本市周辺の信長ゆかりの地を紹介する観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を新たに作成した。完成後の冊子は「お城EXPO 2019」で重点配布したほか、県内外の観光施設、城郭・歴史関連施設にも設置した。また、プロモーション施策として、近日中に当冊子を紹介する特設Webサイトを開設し、歴史愛好家や信長公を始めとする武将愛好家をターゲットにWeb広告を活用した誘導・拡散策を講じる予定である。</p> <p>【市・市観光協会・市民団体】 「信長公生誕の地・勝幡城」をモチーフにした幟旗を作成し、市指定文化財「勝幡城跡」の周辺や「お城EXPO 2019」を始めとする関連イベント時に掲出するなど、プロモーション活動に活用した。また、「勝幡城跡」のPRに努める市民グループや地域の歴史関係者にも積極的に配布し、活動時に有効活用していただいた。</p>	<p>【市・市観光協会①】 「信長と稲沢」を効果的に活用し、「お城EXPO」をはじめとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、「愛知のお城推進協議会」への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを積極的に展開する。</p> <p>【市・市観光協会】 2020年はNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の関係で信長公への注目度も高まっていることから、この機会を逃さないよう、新たに信長公と生誕の地「勝幡城」をモチーフにした御将印又は御城印などのPR用販売グッズ、法被等を始めとする啓発活動資料を作成し、積極的な武将観光プロモーション事業を展開する。</p>
			関係機関との連携による武将観光の推進	市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会】 12月20日、21日の2日間、パシフィコ横浜で開催された「お城EXPO 2019」に愛知県合同出展ブース内「勝幡城」で出展参加。愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、三英傑ゆかりの城のPRを行った。</p> <p>【市・県・県観光協会】 県内の「お城観光」の推進を図ることを目的として愛知県が設立した「愛知のお城観光推進協議会」に関係20市町と共に参画した。</p>	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会】 「お城EXPO」だけでなく、県内の武将観光・城郭観光イベントにも積極的に参加していく。また、「愛知のお城観光推進協議会」を通じて、愛知県や愛知県観光協会、関係市町との連携を深めることで、本市の武将観光の取組を飛躍させていく。</p> <p>【市・市観光協会】 信長公と縁の深い自治体との関係強化を図る中で、連携した武将観光メニューの創出と将来的な広域連携組織への参画を視野に入れていく。</p>
			武将観光ルートの創出(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	<p>【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の中で市内の信長ゆかりの地を巡る観光ルートを紹介した。</p>	<p>【市・市観光協会①】 勝幡城推定復元模型と信長親子像を有する愛西市を始め、一宮市、津島市、清須市など信長ゆかりの資源を有する近隣市町と連携した新たな観光ルートを創出することで、相乗的な観光誘客を目指す。</p> <p>【市・市観光協会②】 信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を活用し、市内の信長ゆかりの地を巡るスタンプラリーをイベント的に実施することで、新たな観光誘客につなげるとともに、観光客の周遊性の向上を目指す。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	④ 産業観光の推進	<p>◆農商工業に関連する技術や生産地、工業施設など、産業を観光資源として活用し、本市の製品を国内外へPRするとともに、生産者が来訪者と交流することで、産業技術の継承、雇用の確保、新たな製品開発等を促し、地域産業の振興を図る。</p> <p>◆本市の都市イメージとして印象強い「植木産業」をはじめ、本市の地場産業の技術を活用したイベント、伝統技術や最先端の工業技術を活用した体験会・見学会等を観光的側面も含めて実施することで、誘客の促進を図るとともに、本市の優れた製品や技術を国内外にPRする。</p>	<p>見学受入可能施設の掘り起こし</p> <p>対外的に誇るべき市内企業・事業者の製品や技術に関する情報発信</p> <p>市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定(再掲)</p> <p>ものづくり体験や収穫体験ができる産業観光メニューの創出</p> <p>産業観光メニューに関する情報発信</p>	<p>市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会</p> <p>市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 農商工業者</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会</p>	<p>短期 (1～3年)</p> <p>短期 (1～3年)</p> <p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p> <p>中期 (3～5年)</p>	<p>【平和町商工会】 へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施し、来場者に桜ネックレスと一緒に巡る観光ルートを提供した。</p> <p>【稲沢商工会議所】 県内の高校・大学生に向けて企業説明会を実施し、稲沢市内の事業所が持つ技術の価値や製品の魅力についてPRした。</p> <p>【祖父江町商工会】 市内外の各種イベント・物産展に商工会員と共に出席参加し、銀杏と銀杏加工品のPR及び販売を行った。</p> <p>【市観光協会・農商工業者】 いなざわ梅まつりや名鉄ハイキング等の特定イベント時に、「明治なるほどファクトリー愛知」、「メタウォーター下水道科学館あいち」、「椿園」「バラ栽培農家」と連携した観光ルートを設定し、市内周遊性を高めた。</p> <p>【平和町商工会・農商工業者】 へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施し、来場者に桜ネックレスと一緒に巡る観光ルートを提供した。</p> <p>【市・農商工業者(いなざわ観光まちづくりラボ)・大学】 ラボメンバー(稲沢フルーツ園の園主)が愛知文教女子短期大学と共同で考案した農業体験民泊プランについて、2月から4月までのモニター期間を経て、5月から本格的にスタートさせた。また、民泊プランを多くの人に知ってもらうため、短大との連携の下、ホームページを開設した。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボ主催で稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会」と「庭木を楽しむスワッグ作り」を開催(2019年11月10日)。稲沢市の代表的な産業である植木をメインに、矢合観音をはじめとする矢合地区周辺の魅力を体感できるツアーを実施し、今後の観光メニュー化につなげた。</p> <p>【市・市観光協会】 「明治なるほどファクトリー愛知」での工場見学及び体験メニューについて、愛知DCアフターキャンペーンの取組みを通じて旅行事業者等に情報発信した。</p>	<p>【市】 市民独自で見学可能な圃場農園を保有しており、受入意思が確認できた場合は、市の関係団体への所属に関わらず市ホームページにて公表することなどを検討する。</p> <p>【祖父江町商工会】 祖父江町内の大企業を主な対象として、見学受入を働きかけていく。</p> <p>【平和町商工会】 へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度も同様に計画しているが、来訪者数の増加が予想され、駐車場の確保が課題となっている。</p> <p>【祖父江町商工会】 今後も市内外の各種イベント・物産展に出店参加し、市内企業・事業者の持つ製品・技術のPRに努める。</p> <p>【市観光協会・農商工業者】 過去に連携実績のある「椿園」「しょうが屋木村」を始め、市内の企業・事業者等と協力して体験型の観光ルートの創出を図る。</p> <p>【平和町商工会】 へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度も同様に計画しているが、来訪者数の増加が予想され、駐車場の確保が課題となっている。</p> <p>【市・市観光協会・農商工業者】 農業体験民泊や農園見学・収穫体験など個々に実施されているものの、観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、その整理を行うとともに、「いなざわ観光まちづくりラボ」との協働により、新たなメニューの創出に取り組む。</p> <p>【市・市観光協会】 ターゲットに応じて様々な広報媒体を活用し、積極的な情報発信に努めていく。</p> <p>【祖父江町商工会】 商工会のホームページやTwitterなどを有効活用し、産業観光メニューの情報を随時発信していく。</p> <p>【平和町商工会】 既存の企業と今後平和工業団地内に誘致される企業等を含め、情報発信に努めていく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	⑤ 周辺地域との広域連携の推進による誘客促進	<p>◆愛知県や愛知県観光協会のほか、美濃路・木曾川沿線自治体など本市と共通のテーマ・資源を持つ自治体や観光事業者等との連携により観光ルートの創出やイベント・キャンペーンを開催し、エリアとしての誘客を図る。</p> <p>◆本市の地域資源と周辺市町の地域資源を効果的に組み合わせ、広域的に連携することで国内外からの誘客を促進し、来訪・交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる。</p>	<p>広域連携による観光ルートの創出</p> <p>広域観光組織及び協議体への参画</p>	<p>市(商工観光課) 国・県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>中期 (3～5年)</p> <p>長期 (5年以上)</p> <p>短期 (1～3年)</p>	<p>【市】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の中で、本市の指定文化財「勝幡城跡」周辺と、愛西市の勝幡城推定復元模型及び信長親子像を結ぶ信長公ゆかりの地ルートを設定し、紹介した。</p> <p>【市】 県内の「お城観光」の推進を図ることを目的として愛知県が設立した「愛知のお城観光推進協議会」に参画した。</p> <p>【市】 県内に観光客を誘致し、観光関連産業の成長と地域経済の発展に資することを目的として愛知県が設置する「愛知・名古屋観光誘客協議会(仮称)」に参画する。</p> <p>【市・市観光協会】 県内の街道の魅力を発信し、愛知の「街道観光」の推進を図ることを目的として愛知県が設置した「愛知県街道観光推進協議会」に参画した。</p> <p>【市・市観光協会】 美濃路街道連携協議会の加盟自治体として、大垣市で11月16日、17日の2日間開催された西美濃まるごとバザール内の「美濃路フェスタinおがき」美濃路街道交流物産展に出店参加し、銀杏販売と稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市】 亀翁寺において文化財公開デーを4月13日に開催。重要文化財「虚空蔵菩薩坐像」を一般公開(25年に一度)し、文化財の活用を図った。</p>	<p>【市・市観光協会①】 美濃路街道連携協議会の加盟自治体や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(一宮市、津島市、清須市、愛西市など)と協力して、特定のテーマを持った新たな広域周遊ルートを創出することで、相乗的な観光誘客を目指す。</p> <p>【市・市観光協会②】 「愛知のお城推進協議会」の事業を通じて、県内市町村との連携を強化し、新たな武将観光ルートの創出につなげる。</p> <p>【市・市観光協会①】 「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」のオープンに加え、2020年度は稲沢市が美濃路街道連携協議会の幹事市となることから、地域及び関係市町村との連携の下、美濃路パネル展や美濃路ウォーク等の街道観光事業を展開する。 また、これらの事業を「愛知県街道観光推進協議会」を通じて、県内外に広く発信する。</p> <p>【市・市観光協会②】 「愛知のお城推進協議会」を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを積極的に展開する。</p> <p>【市・市観光協会③】 信長公と縁の深い自治体との関係強化を図る中で、連携した武将観光メニューの創出と将来的な広域連携組織への参画を視野に入れていく。</p> <p>【市・市観光協会④】 「愛知・名古屋観光誘客協議会(仮称)」を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)と密な連携によるPR・プロモーション施策を展開し、本市への観光誘客につなげていく。</p> <p>【市】 文化財所有者及びボランティア団体との連携により文化財公開デーを開催し、活用を図る。</p> <p>【市観光協会・寺社】 2021年に善光寺東海別院が7年に一度の御開帳を迎える。全国各地からの周遊旅行者を受け入れ、おもてなしができるよう、2020年度は連携協力しながら全国でプロモーション活動を展開していく。</p>
2	⑥ 寺社との連携強化による文化財の活用	<p>◆文化財の活用に向けて、文化財所有者で組織する連絡協議会、行政及びボランティアガイドの団体による連絡会議を開催し、公開に向けた方策を検討する。</p>	文化財の活用に関する協議体による検討	市(生涯学習課) 市観光協会 寺社 市民団体	短期 (1～3年)	【市】 亀翁寺において文化財公開デーを4月13日に開催。重要文化財「虚空蔵菩薩坐像」を一般公開(25年に一度)し、文化財の活用を図った。	【市】 文化財所有者及びボランティア団体との連携により文化財公開デーを開催し、活用を図る。  【市観光協会・寺社】 2021年に善光寺東海別院が7年に一度の御開帳を迎える。全国各地からの周遊旅行者を受け入れ、おもてなしができるよう、2020年度は連携協力しながら全国でプロモーション活動を展開していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	⑦ サリオパーク祖父江を核とした体験型観光の推進	◆毎年多くの賑わいと交流が生み出されている稲沢夏まつり、稲沢サンドフェスタや東海シクロクロス大会、絶滅危惧種の野鳥類をはじめ貴重な生物の生息観察ができる環境学習会(自然観察会)などの催しをさらに磨き上げるとともに、国・県との連携の下、ウインドサーフィンや水上バイク、サップヨガなどの水上スポーツ、バーベキューや砂丘を活用した体験型イベントなど、サリオパーク祖父江の特色を活かした「ここでしかできない」自然体験型の観光メニューを創出し、年間を通じた集客へとつなげていく。	サリオパーク祖父江と善光寺東海別院等の周辺施設を組み合わせた観光ルートの設定(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	未実施	【市観光協会】 5月上旬にサリオパーク祖父江近隣にある王子板紙工場外周のツツジ(稲沢市景観地50選の一つ)が見頃を迎えるので、サリオパークと善光寺東海別院、祖父江ふれあいの郷(天然温泉)を合わせて巡るツアーを企画検討する。
			環境学習会(自然観察会)の開催	市(環境保全課) 国	短期 (1~3年)	【市】 5月25日及び7月20日に自然観察会(植物及び昆虫の観察)を開催した。 <開催時間> 午前9時~10時30分 <参加者> 5月25日:小学生15人、保護者14人、幼児3人 7月20日:小学生13人、保護者8人、幼児4人	【市】 2020年5月23日、7月18日に自然観察会(植物及び昆虫の観察)を開催予定。開催時間は午前9時~11時(昨年度より30分延長)。 次年度からは市内小学生のみに限らず、中学生以上も対象とする。
			サリオパーク祖父江の特色を活かした体験型観光メニューの創出	市(商工観光課) 市(都市整備課) 国・県 市観光協会	短期 (1~3年)	【市・国・県・市民団体】 サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を設置し、当地の特色を活かした多様なイベント企画を展開した。  【市民団体(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボメンバーが所属する団体「mizube38」が中心となり、7月15日から28日までの間、日本唯一の河畔砂浜ビーチで夏を楽しむイベント「MAKAI BEACH FESTIVAL 2019」を開催するなど、サリオパーク祖父江にある砂丘や川面を活用した様々な体験型イベントを実施した。	【市・国・県・市民団体】 「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、3公園の特色を活かした多様なイベント企画を通年で展開していく。  【市・市観光協会】 サリオパーク祖父江でのアクティビティなど、個々に実施されているものの観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、その整理を行うとともに、「いなざわ観光まちづくりラボ」との協働により、新たなメニューの創出に取り組む。
			サリオパーク祖父江における適切な公園機能の充実と周辺道路の整備	市(都市整備課) 国・県	中期 (3~5年)	【市】 道路整備について、実施設計及び都市計画変更を行った。	【市】 民間用地買収完了、一部工事施工を予定。また、道路整備に合わせた3公園の一体利用の促進に向けて、祖父江3公園整備運営協議会で協議していく。
2	⑧ ”農”を活用した体験型観光メニューの創出	◆「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力の向上を目指して、代表4品種である「久寿」「藤九郎」「栄神」及び「金兵衛」の保全を行い、広く銀杏を県内外にPRする場となる「(仮称)イチョウ見本園」を整備し、来訪者にそぶえイチョウ黄葉まつりと合わせて回遊してもらうなど、新たな市内名所として活用する。  ◆地域との連携により、田植え・稲刈り等の農業体験や自然環境学習が行える“農”を活用した体験型メニューの創出に取り組むとともに、市内外の方が気軽に参加できる農業体験農園を開発しようとする農業者、民間企業等の発掘にも努める。	地域と連携した農業体験メニューの創出	市(商工観光課) 市(農務課) 市(環境保全課) 農商工業者 市民団体	短期 (1~3年)	【市・市民団体】 NPO法人祖父江のホタルを守る会の実験田で、6月15日、8月24日、10月5日、10月26日の計4回自然観察会を実施し、延べ148名の参加があった。実験田は無農薬農法及び冬季湛水を実施し、年間を通してミナミメダカなどの水生生物が生きている。また、稲刈りの時期にはたくさんのイナゴも見られ、幅広い層に環境の学びの場を提供している。  【市・農商工業者(いなざわ観光まちづくりラボ)・大学】 ラボメンバー(稲沢フルーツ園の園主)が愛知文教女子短期大学と協同で考案した農業体験民泊プランについて、2月から4月までのモニター期間を経て、5月から本格的にスタートさせた。また、民泊プランを多くの人に知ってもらうため、短大との連携の下、ホームページを開設した。	【市・市民団体】 NPO法人祖父江のホタルを守る会の実験田で令和2年6月13日、8月22日、10月3日、10月24日の計4回自然観察会を開催予定。  【市・市観光協会・農商工業者】 農業体験民泊や農園見学・収穫体験など個々に実施されているものの、観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、その整理を行うとともに、「いなざわ観光まちづくりラボ」との協働により、新たなメニューの創出に取り組む。
			農業体験農園の整備、農業体験の場の提供	市(農務課) JA 農商工業者	短期 (1~3年)	【市・JA愛知西】 JA愛知西・一宮市・稲沢市の共同運営による「はつらつ農業塾」を実施した。	【市】 市民農園や農業体験農園等の現状把握及び今後開設しようとする農業者の発掘に努める。既に取組を実施している農業者団体に対しては、受入れの意思がある場合、市民向け広報を中心に活動を支援していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			植木・苗木、祖父江ぎんなん等の農産品の販売拡充	市(農務課) 商工会 JA 農商工業者	短期 (1~3年)	<p>【市・農商工業者】 植木・苗木については、市内だけでなく、一宮市など近隣市町村のまつりにも5回出店し販売した。また、いなざわ植木まつりでは、イチヨウのアロマキャンドルを抽選会の景品とし、PRを行った。さらに、全国植樹祭会場内にて稲沢産イチヨウの木コースターを販売した。</p> <p>【市・市観光協会】 西美濃まるごとパザール内の「美濃路フェスタinおおがき」美濃路街道交流物産展(11月16日・17日に大垣市で開催)に出店参加し、銀杏の試食販売と稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市観光協会】 モリコロパークで開催される市町村対抗駅伝大会に協賛して行われた「ふるさと市」(12月7日開催)に出店し、銀杏の試食販売と共に「イチヨウ黄葉のまち・稲沢市」をPRした。</p> <p>【祖父江町商工会・農商工業者】 そぶえイチヨウ黄葉まつり(11月23日~12月1日開催)で生産者が直接県内外の来場者に対して銀杏販売を実施した。また、市内外の各種イベント・物産展に商工会員と共に出店参加し、銀杏と銀杏加工品のPR及び販売を行った。</p> <p>【JA愛知西】 JA感謝祭にて祖父江ぎんなんの販売を実施した。</p>	<p>【市・農商工業者】 植木、苗木については、市外のまつりにも引き続き出店し、販売拡充につなげていく。</p> <p>【市・市観光協会】 県内外の観光イベントや観光物産展において、祖父江のイチヨウ黄葉のPRと合わせて銀杏販売を実施する。</p> <p>【祖父江町商工会】 そぶえイチヨウ黄葉まつりで今後も銀杏販売を実施する。</p> <p>【JA愛知西】 JA感謝祭にて祖父江ぎんなんの販売を引き続き実施する。</p>
			「(仮称)イチヨウ見本園」整備事業	市(農務課) 県 商工会 JA 農商工業者	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 「(仮称)イチヨウ見本園」の整備に向けて、2018年度に基本計画及び整備予定地の実施測量等を完了させた。2019年度はトイレ等を始め公園として供用を行うための設備等について設計を行い、併せて整備予定地の用地取得を開始した。 なお、見本園の名称の公募を行った結果、北は北海道、南は福岡県まで計193名称の応募があったため、「(仮称)イチヨウ見本園整備計画検討会」において選考を行う。</p>	<p>【市・市観光協会・県・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】 「(仮称)イチヨウ見本園」について、整備予定地の用地取得が完了次第、工事に着手し、2021年4月の供用開始を目指す。完成後は、祖父江ぎんなんの更なるブランド力向上とともに、「そぶえイチヨウ黄葉まつり」の会場活用を始め「銀杏・歴史・健康」などをテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを目指す。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	⑨ 健康づくりと運動したまち歩きの推進	<p>◆健康づくり用のスマートフォンアプリ、観光ガイドブックとウォーキングマップが一体となったマップを作成し、まち歩きに活用してもらうことで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るとともに、来訪者による市内周遊性の向上と地域の魅力発見につなげ、ウェルネスツーリズムをコンセプトとした新たな事業展開を目指す。</p> <p>◆アプリを活用したウォーキングポイント制度として、ウォーキングに参加することでポイントが加算され、貯まったポイントと引き換えに特産品等の景品を贈呈する取り組みを検討する。</p>	健康づくりアプリ・ウォーキングマップの作成	市(健康推進課) 市観光協会	短期 (1～3年)	未実施	【市】 アプリは使用せず、観光ガイドブックや「るるぶ特別編集稲沢市」を始めとする既存の観光パンフレットを活用してウォーキングに取り組めるように啓発していく。
			ウォーキングポイント制度の検討	市(健康推進課) 商工会議所 商工会 農商工業者	短期 (1～3年)	未実施	【祖父江町商工会】 実施に向けて調査研究を行う。
			ウェルネスツーリズム事業	市(健康推進課) 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者	中期 (3～5年)	<p>【市】 11月3日に開催した「いきいきなざわ健康秋フェスタ」において、「いきいきウォーキング～秋の稲沢よいとこ巡り矢合・国分寺編」を実施した。矢合・国分寺周辺を巡るルートを設定し、重要文化財を見たり、マルシェに立ち寄るなどの観光要素を織り交ぜた健康づくりを行った。</p> <p>【祖父江町商工会】 通年型のツーリズム事業として、新緑期・黄葉期のイチヨウを巡るセラピーウォーキングを実施した。(※サリオパーク祖父江を巡るノルディックウォーキングは、台風接近のため中止)。 また、来年度以降の参加者増を目指して協議を行った。</p>	<p>【市】 ウォーキングイベント等で観光ガイドブックや「るるぶ特別編集稲沢市」を始めとする既存の観光パンフレットを活用し、地域の魅力を発見できる機会を増やしていく。</p> <p>【市観光協会】 市と協力して観光地点を巡る魅力的なウォーキングコースの設定等を行い、まち歩きの促進を図る。</p> <p>【祖父江町商工会】 今後も各種ウォーキングイベントの広報に注力し、参加者増加を目指していく。</p>
2	⑩ 荻須記念美術館の魅力向上	<p>◆本市が輩出した荻須高德画伯を顕彰する美術館をシンボルとして芸術文化の振興を図る。</p> <p>◆荻須画伯に関する作品、資料のさらなる収集に努め、特別展・企画展を開催することで鑑賞の機会を提供し、市内外からの幅広い集客を図る。</p> <p>◆市内の大学等と連携し、体験型イベントをはじめ、美術館の魅力向上と集客につながる事業を展開していく。</p>	特別展・企画展の開催	市(美術館)	短期 (1～3年)	<p>【市】 10月26日から12月8日までを会期とし、特別展「木村伊兵衛 バリ残像」を実施した。 (会期中入場者数:4,409人)</p>	<p>【市】 今後も顕彰画家である荻須高德や荻須に関連する作家等を紹介する展覧会を企画し、鑑賞の機会を提供することで、市内外からの幅広い集客につなげていく。</p>
			稲沢市美術館大学パートナーシップ事業	市(美術館) 大学	短期 (1～3年)	<p>【市・大学】 特別展に関連した連携事業を市内各大学と実施した。 〈名古屋文理大学〉 「サロン・ドゥ・パリ」 11月4日に特別展鑑賞とフランス・パリに関わる音楽を鑑賞する連携企画を実施。 〈愛知文教女子短期大学〉 「美術館で着物を楽しむ～鑑賞+アフタヌーンティー～」 11月26日に着物を着て特別展鑑賞と市内飲食店で限定メニューを楽しむ企画を実施。</p>	<p>【市・大学】 大学との連携をさらに深め、魅力ある美術館大学パートナーシップ事業を展開することで、集客力の向上につなげていく。</p>



NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	① 四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催	<p>◆国府宮はだか祭、さくらまつり、植木まつり、あじさいまつり、サンドフェスタ、イチョウ黄葉まつりなど、季節や地域の魅力を伝えることができる祭り・イベントを持続的に開催できるよう支援を行っていく。</p> <p>◆これらの既存イベントに加え、特産品を活用した食のイベントや体験型イベントなど、地域の魅力をつなぎ、来訪者が気軽に楽しめる新たなイベントを地域とともに創出し、来訪者の増加を図る。</p>	稲沢桜まつり・へいわさくらまつり	商工会議所 商工会	短期 (1～3年)	<p>【稲沢商工会議所】 4月6日に国府宮参道でメイン行事を開催した。(来場者数:8,000人)</p> <p>【平和町商工会】 4月6日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で開催した。(来場者数:7,000人)</p>	<p>【稲沢商工会議所】 2020年4月4日に国府宮参道で開催予定</p> <p>【平和町商工会】 2020年4月4日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で開催予定。</p>
			いなざわ植木まつり	市(農務課)	短期 (1～3年)	<p>【市】 4月20日から29日まで国府宮参道で開催した。植木販売に加え、坪庭やフラワーフォトスポットを設置。また、植木苗木購入者を対象に、市内農産加工物等が当たる抽選会を実施し、稲沢の農業全体のPRを行った。(期間中来場者数:41,100人)</p>	<p>【市】 2020年4月20日から29日まで国府宮参道で開催予定。 植木苗木の即売をメインとしつつ、緑に親しむ祭りとして幅広い世代の方に来場していただけるよう、各種イベントを検討していく。</p>
			稲沢あじさいまつり	市(商工観光課)	短期 (1～3年)	<p>【市】 6月1日から16日まで大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催した。(期間中来場者数:54,000人)</p>	<p>【市】 2020年6月1日から14日まで大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催予定。 次年度は、①あじさい案内看板とパンフレットの充実、②駐車場不足の解消とトラブルの防止、③インスタ映えスポットの設置に取り組んでいく。</p>
			稲沢夏まつり	市民団体	短期 (1～3年)	<p>【稲沢夏まつり実行委員会】 8月31日にサリオパーク祖父江で開催した。(来場者数:56,000人)</p>	<p>【稲沢夏まつり実行委員会】 2020年8月末にサリオパーク祖父江で開催予定。</p>
			稲沢サンドフェスタ	市(都市整備課)	短期 (1～3年)	<p>【市】 台風の影響により中止となった。</p>	<p>【市】 2020年10月中旬にサリオパーク祖父江で開催予定。 飲食店とイベントの見直しにより、集客と満足度の維持に努めていく。</p>
			稲沢まつり	商工会議所	短期 (1～3年)	<p>【稲沢商工会議所】 10月19日・20日に国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催した。(両日來場者数:76,000人)</p>	<p>【稲沢商工会議所】 2020年10月17日・18日に国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催予定。 次年度は、既存イベントの見直しに取り組んでいく。</p>
			そぶえイチョウ黄葉まつり	商工会	短期 (1～3年)	<p>【祖父江町商工会】 11月23日から12月1日までの間、祐専寺及びその周辺、祖父江町体育館で開催した。 今年度は会場(祐専寺)のレイアウトを大幅に変更し、来場者の導線形成及び安全確保に努めるとともに、ロードバイク用の駐輪場や無料Wi-Fiスポットを新たに整備した。また、外国人観光客に対応するため、多言語案内看板の設置や多言語対応可能なホームページの開設等も行った。 (期間中来場者数:259,450人 ※観光バス50台・1,573人を含む。)</p>	<p>【祖父江町商工会】 2020年度も祐専寺及びその周辺、祖父江町体育館で開催予定。来場者の更なる増加を目指したイベントづくりを行っていく。</p>
			国府宮はだか祭	寺社	短期 (1～3年)	<p>【尾張大國霊神社(国府宮)】 2月6日に尾張大國霊神社(国府宮)で開催する。</p>	<p>【尾張大國霊神社(国府宮)】 2021年2月24日に尾張大國霊神社(国府宮)で開催予定。</p>
			いなざわ梅まつり	市観光協会	短期 (1～3年)	<p>【市観光協会】 3月7日・8日に愛知県植木センターで開催する。駐車場や開催場所のスペースに限りがあるため、周辺の施設とも連携を図る。特に「矢合の杜」には梅園が整備されているので、「メタウォーター 下水道科学館あいち」と共にサテライト会場と位置付け、来場者が周遊しながら楽しめるイベントづくりを行う。</p>	<p>【市観光協会】 2021年3月上旬に愛知県植木センターで開催予定。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			既存イベントにおける連携強化(再掲)	市(商工観光課) 市(農務課) 市(都市整備課) 市観光協会 商工会議所 商工会 市民団体	短期 (1～3年)	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 直後に開催を控える祭り・イベントのチラシを会場内で配布するなど、各祭り・イベントにおいて本市への再訪につなげるための取組を行った。</p> <p>【市観光協会①】 稲沢グランドボウルで開催されたボウリングの全国大会(6月23日開催の全日本シニアボウリング大会、8月4日開催の全国小学生ボウリング大会)と市外からの参加者も多い稲沢シティーマラソン(11月10日開催)に出店し、特産品販売とパンフレット等による稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市観光協会②】 国府宮はだか祭(2月6日開催)の来場者に対し、市内の農業生産者の協力の下、会場付近の商店街の空きスペースを利用して特産品の宣伝販売を実施する。</p> <p>【祖父江町商工会】 そぶえいチョウ黄葉まつり(11月23日～12月1日開催)において、イチヨウの木コースター作り・銀杏試食コーナー等の実施による地域資源のPRと、地元商店の出店や企業展による地域産業を知るきっかけづくりを行った。また、今年度は商店街活性化・観光消費創出事業(国補助金制度)を活用して、地域主体の下、地元企業・各観光拠点・市と連携し、観光拠点及び地元商店を巡る「黄葉スタンプラリー」を実施。観光客の回遊性の向上と恒常的かつ持続的な消費活動の創出に取り組んだ。さらに、伴走型小規模事業者支援推進事業(県補助金制度)を活用して、まつり終了後に「おもてなし展示即売会」を祐専寺で開催。まつり開催期間に来られなかった来場者に対して銀杏販売や特産品販売を行うとともに、地元店舗のPR活動に努めた。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 国府宮参道で開催した稲沢イルミネーション(11月16日～12月25日開催)において、「国分寺マルシェ」、「星川楽器」を始めとする市内活動団体と連携したイベント企画を実施し、幅広い集客につなげた。</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 引き続き祭り・イベント間の情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客につなげていく。</p> <p>【市観光協会】 観光イベントに限らず、市外からの参加が見込める市内各種イベント(スポーツ大会など)にも出店し、本市の特産品や観光情報のPRを行っていく。</p> <p>【祖父江町商工会】 今後も、そぶえいチョウ黄葉まつりを開催するとともに、各種補助金制度を活用した事業を展開し、広く自然・産業を知るためのきっかけづくりと稲沢市のPRに努めていく。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 今後も市内で活動する団体等とイベント企画を始め、幅広く連携を取りながら事業を展開していく。</p>
			地域が主体となったイベントの開催	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者 市民団体	中期 (3～5年)	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 いなざわ観光まちづくりラボのメンバーが中心となり、市内の各種団体や大学、企業、行政等が参画する稲沢イルミネーションを11月16日から12月25日まで国府宮参道で開催した。(期間中來場者数:15,000人)</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボ主催で、稲沢グリーンツーリズム「植木畑の観察会と庭木を楽しむスワッグ作り」、「やわせ!てくてくウォーキング♪(3月8日予定)」を、ラボ共同企画として「重要文化財・汗かき地蔵のミステリーと矢合観音」を開催した。</p> <p>【稲沢商工会議所】 商店街の活性化を目的とし、地域商店街と連携してスタンプラリー事業を実施した。</p> <p>【祖父江町商工会】 国補助金制度(商店街活性化・観光消費創出事業)を活用して、地域主体の下、地元企業・各観光拠点・市と連携し、観光拠点及び地元商店を巡る「黄葉スタンプラリー」を実施(11月11日～12月25日)。観光客の回遊性の向上と恒常的かつ持続的な消費活動の創出に取り組んだ。</p>	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 2020年11月中旬から12月下旬にかけて国府宮参道で稲沢イルミネーションを開催予定。</p> <p>【市観光協会】 いなざわ観光まちづくりラボが主体となって企画したイベントの開催支援に努めていく。</p> <p>【稲沢商工会議所】 商店街と連携して観光振興に努める。</p> <p>【祖父江町商工会】 来年度以降も地域が主体となったイベントが実施できるよう、活用できる補助金を探すなど、地域の活性化を目指していく。</p> <p>【平和町商工会】 市等の関係団体に加え、まちづくり推進協議会とも協議し、地域特有の新たなイベントの創出を検討していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	⑫ 観光行動及び交流活動の推進	<p>◆「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」を実施し、スタンプを集めた参加者には市内飲食店で使える食べ歩きクーポンやいなッピーグッズをプレゼントするなど、市内で開催されている祭り・イベントを通年でつなぐ仕組みを構築する。</p> <p>◆将来的にはスマートフォンアプリ等の活用を視野に入れて展開していくこととし、収集したデータは市内観光客の周遊データ分析に活用することで、次なる観光施策の推進につなげていく。</p>	<p>「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」の実施</p>	<p>市(商工観光課) 市(農務課) 市(都市整備課) 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者 市民団体</p>	<p>中期(3~5年)</p>	<p>未実施</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 実施の可能性について関係団体から意見を聴取し、事業具体化に向けて調整を進めていく。 なお、調整状況に応じて、2020年度の一部試行実施も検討する。</p>
			<p>スマートフォンアプリ等の活用と市内観光客の動向分析</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>中期(3~5年)</p>	<p>未実施</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 実施に向けて検討していく。</p>
基本方針3 観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築							
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化	<p>◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開発するほか、SNSをはじめとする新たなコミュニケーションツールを活用し、双方向の情報共有が可能な仕組みの構築を検討する。</p> <p>◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。</p> <p>◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなッピー」や稲沢市観光PR大使、稲沢市キャンペーン・レディーを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開していく。</p> <p>◆本市への来訪意欲と消費意欲を喚起に向けて、今後ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとする戦略的な観光プロモーションを稲沢市観光協会を中心に取り組んでいく。</p>	<p>SNS等の新たなコミュニケーションツールを活用した情報発信</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会 市民個人</p>	<p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市】 稲沢あじさいまつり実行委員会でFacebookを活用し、祭り・イベント情報をリアルタイムで発信した。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボメンバーが中心となって運営する情報ポータルサイト「いなざわさわ」において、ラボメンバーが主催するイベントや市民が自ら取材して入手した稲沢市の隠れた魅力・スポット等をFacebookとも連携して随時情報発信した。</p> <p>【祖父江町商工会】 そぶえイチョウ黄葉まつりの開催に合わせ、商工会の公式Twitterで観光拠点案内、イチョウの黄葉具合、銀杏の情報等をリアルタイムで発信した。また、まつり専用ホームページも公開し、公式Twitterと連携した情報発信によって集客力の向上に努めた。</p> <p>【稲沢夏まつり実行委員会・稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 Facebookやinstagramを活用し、各祭り・イベントの情報をリアルタイムで発信した。</p>	<p>【市】 各祭り・イベントにおいて、開催の目的や内容、ターゲットとする来場者に応じた最適なSNSを活用し、効果的かつリアルタイムな情報発信により、誘客に繋げていく。</p> <p>【市観光協会】 SNSを導入し活用することで、公式サイト等と連動した効果的かつリアルタイムな情報発信を推進し、稲沢市の観光情報への訴求力を高める。</p> <p>【祖父江町商工会】 商工会の公式サイト、公式Twitter及びまつりの専用ホームページを活用して、祖父江のイチョウ黄葉や銀杏に関する情報を随時発信していく。</p> <p>【稲沢夏まつり実行委員会・稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 Facebookやinstagramを活用し、各祭り・イベントの情報をリアルタイムで発信していく。</p>
			<p>マスメディアや地域メディアとの連携強化</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 各祭りでキャラバン隊を編成し、報道機関を訪問して重点的な宣伝PR活動を行った。また、愛知DCアフターキャンペーンの取組を通じて、祖父江のイチョウ黄葉を始めとする観光情報の発信に積極的に努めた結果、様々なメディアからの問合せや取材、番組出演オファーが大きく増えた。</p>	<p>【市・市観光協会】 稲沢市の観光資源の魅力を県内外に広く認知してもらうため、メディアの効果的な活用を目指し、引き続き積極的な情報発信を行っていく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 祭りの開催に向けてキャラバン隊を編成し、報道機関を訪問するなど重点的な宣伝PR活動を行っていく。</p>
			<p>フィルムコミッション事業の推進</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市】 愛知県フィルムコミッション協議会を通じて情報収集に努めた。</p>	<p>【市】 引き続き情報収集に努める中で、今後の事業の具体化と体制づくりを検討していく。</p>
			<p>いなッピーの活用</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市・市観光協会】 「稲沢あじさいまつり」や「お城EXPO 2019」など市内外の観光イベントに参加し、稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市観光協会】 いなッピーグッズを制作販売し、稲沢市のPRに努めた。</p>	<p>【市・市観光協会】 市内外の観光イベントに参加出演するなど、引き続き稲沢市の観光PRに活用していく。</p> <p>【市観光協会】 新たないなッピーグッズを制作することで、稲沢市への愛着と注目度の向上に努める。</p>
			<p>稲沢市キャンペーン・レディーの活用</p>	<p>市観光協会</p>	<p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市観光協会】 キャンペーン・レディー3名が年間を通じて市や関係団体が主催する観光イベントや事業に参加し、稲沢市の観光PR活動に取り組んだ。</p>	<p>【市観光協会】 稲沢市の観光PRと知名度向上につながる活動に引き続き積極的に関わっていく。 また近年、応募者数が減少傾向にあるため、応募資格から年齢制限の上限を撤廃し、より幅広い層からの応募を求めていく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			関係機関等と連携した観光プロモーションの推進	市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者	短期 (1～3年)	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 愛知県、愛知県観光協会、JR東海ほか観光関係者との連携により愛知DCのアフターキャンペーンを展開。祖父江のイチヨウ黄葉を重点的にPRした結果、今年度の「そぶえイチヨウ黄葉まつり」には県内外から259,450人(観光バス50台・1,573人を含む。)が来場し、大変な賑わいを見せた。</p> <p>【市・市観光協会・県観光協会】 愛知県観光協会へ本市の観光情報を積極的に提供し、多数のアクセス数を誇る愛知の公式観光Webサイト「Aici Now」や愛知の旅まるごとマガジン「旬感観光あいち」を活用した観光PRを行った。</p> <p>【市・市観光協会・県・県観光協会】 12月20日、21日の2日間、パシフィコ横浜で開催された日本最大の城郭イベント「お城EXPO 2019」に、愛知県合同出展ブース内「三英傑ゆかりの城・勝幡城」として出展参加。愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、三英傑ゆかりの城のPRを行った。</p>	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 県内外で開催される観光商談会や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、本市の観光素材を積極的に売り込み、新たな旅行商品の造成を促す。 また、愛知県が設立する「愛知・名古屋観光誘客協議会(仮称)」を通じて、県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)と密な連携によるPR・プロモーション施策を展開し、本市への観光誘客につなげていく。</p> <p>【市・市観光協会・県・県観光協会】 「お城EXPO」をはじめとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、「愛知のお城推進協議会」への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公の生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを積極的に展開する。</p>
			観光ポータルサイト・アプリの作成・運用	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	<p>【市観光協会】 稲沢市の観光情報へのアクセシビリティ向上と訴求力強化を目的に、市観光協会の公式Webサイトをリニューアルした。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ラボメンバーが中心となって運営する情報ポータルサイト「いなざわざわ」において、ラボメンバーが主催するイベントや市民が自ら取材して入手した稲沢市の隠れた魅力・スポット等について随時情報発信した。</p>	<p>【市観光協会】 公式サイトをリニューアルしたものの、掲載コンテンツが依然不足しており、利用者及び観光客のニーズに答えられていないのが現状である。掲載情報の再整理とコンテンツの充実を行い、訴求力の高いWebサイトへと改善を図っていく必要がある。また、SEO対策やアクセス解析等にも取り組んでいく。</p>
			稲沢市観光PR大使の活用	市(商工観光課)	中期 (3～5年)	<p>【市】 庁内での意見交換にとどまる。</p>	<p>【市】 観光PR大使の候補者を検討していく。</p>
			『いなざわ』ブランドの創出と磨き上げ	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	<p>【市・市観光協会】 昨年度の愛知県観光サミットでの「勝幡城跡」に着目したプログラム実施に続き、信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の作成と当冊子を活用したプロモーション事業の展開により、「信長公生誕の地・稲沢市」のブランド化に向けた基盤づくりを行った。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・県・県観光協会・交通事業者】 「祖父江のイチヨウ黄葉」について、愛知DCアフターキャンペーンの取組を通じて、他では観ることができない貴重な観光資源として県内外の観光事業者等に積極的にPRしたほか、「そぶえイチヨウ黄葉まつり」におけるイベント・出展内容の充実や受入・おもてなし体制の整備に努めた結果、県内外から259,450人が来場し、各種メディアでも大きく取り上げられるなど、稲沢市を代表するブランドとして更なる飛躍を遂げた。</p>	<p>【市・市観光協会】 「信長と稲沢」を効果的に活用し、武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、「愛知のお城推進協議会」への参画を通じて、「信長公生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを積極的に展開する。 また、市民グループや地域の歴史関係者との連携のほか、市民向けの啓発にも引き続き取り組み、市民の新たなアイデンティティ形成と観光まちづくり活動への発展を目指す。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 関係者と連携を図りながら、積極的な事業展開とPRに取り組むことで、「祖父江のイチヨウ黄葉」の更なる知名度向上と観光誘客に繋げていく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			戦略的な観光プロモーションの実現(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	<p>【市①】 今年度作成した信長×稲沢観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を12月20日、21日の2日間、パシフィコ横浜で開催された日本最大の城郭イベント「お城EXPO 2019」で重点配布したほか、県内外の観光施設、城郭・歴史関連施設にも設置した。なお、近日中午に当冊子を紹介する特設Webサイトを開設し、歴史愛好家や信長公を始めとする武将愛好家をターゲットにWeb広告を活用した誘導・拡散策を講じる予定である。</p> <p>【市②】 今後の観光プロモーション活動に活用するため、クリアファイルを2種類(観光資源紹介バージョン・信長公生誕地バージョン)作成する。</p> <p>【市・市観光協会・県観光協会】 愛知県観光協会へ本市の観光情報を積極的に提供し、多数のアクセス数を誇る愛知の公式観光Webサイト「Aici Now」や愛知の旅まるごとマガジン「旬感観光あいち」を活用した観光PRを行った。</p> <p>【市・市観光協会・県・交通事業者】 愛知県、JR東海との連携により愛知DCアフターキャンペーン企画・観光列車を実施し、遠方から訪れた乗客に対して車中で祖父江のイチヨウ黄葉や銀杏、国府宮はだか祭を始めとする本市の観光資源をPRした。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】 各祭りでキャラバン隊を編成し、報道機関を訪問して重点的な宣伝PR活動を行った。また、愛知DCアフターキャンペーンの取組を通じて、祖父江のイチヨウ黄葉を始めとする観光情報の発信に積極的に努めた結果、様々なメディアからの問合せや取材、番組出演オファーが大きく増えた。</p>	<p>【市・市観光協会①】 「信長と稲沢」を効果的に活用し、「お城EXPO」をはじめとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、2019年度に設立された「愛知のお城推進協議会」への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公の生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客につながるプロモーションを積極的に展開する。</p> <p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 県内外で開催される観光商談会や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、本市の観光素材を積極的に売り込み、新たな旅行商品の造成を促す。 また、愛知県が設立する「愛知・名古屋観光誘客協議会(仮称)」を通じて、県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)と密な連携によるPR・プロモーション施策を展開し、本市への観光誘客につなげていく。</p> <p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会】 ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる国府宮はだか祭「なおい特別栈敷券」や本市特産品のPRに努めることで、本市の観光資源の魅力を全国に発信していく。</p>
3	② 食の魅力づくり・お土産品の開発	<p>◆本市の食材や食品、食文化を活用したイベント等の際に、食材・食品のPRと合わせて生産者、販売者の“こだわり”等を情報発信することで、商品の付加価値を高め、販路の拡大につなげる。</p> <p>◆「食」の地域ブランド化を推進し、シティプロモーションのツールとして活用する。</p> <p>◆市民や来訪者が特産品をいつでも気軽に入手でき、さらに飲食や休憩などできる場所として、主要駅前周辺施設や商店街空店舗の活用、JAの共同直売所の充実をはじめ、交流拠点の整備について検討していく。</p> <p>◆各祭り・イベントにおいて稲沢市PRコーナーを設置し、来訪者が特産品を気軽に購入できる環境を整備する。</p>	稲沢市の「食」を活用したイベントの開催	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者	短期 (1~3年)	<p>【市】 農業者が自ら作った農作物や加工品を祭りやイベント等で販売し、POPなどを活用して“こだわり”を発信した。 また、商品の付加価値を高め、SNS等を活用した情報発信を推進するため、1月に全2回の6次産業化研修会を開催する。</p> <p>【市観光協会】 新鮮な稲沢産の食材を美味しくおしゃべりに味わうためのイベントとして「地産地消おしゃべりな料理教室」を9月12日・13日に開催した。</p> <p>【JA愛知西】 JA広報誌を活用して女性部による銀杏料理の紹介を行った。</p>	<p>【市】 農作物や加工品について、限定販売商品の付加価値を高める必要があるほか、SNS等を活用した農業者の“こだわり”を発信できる場や民間業者や製造業者とのマッチングの場を設け、販路の拡大につなげていく必要がある。</p> <p>【市観光協会】 「地産地消おしゃべりな料理教室」を引き続き開催する。</p> <p>【商工会議所・商工会】 今後関係団体と協議していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			特産品の認定及び販路拡大	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者	短期 (1~3年)	<p>【市・農商工業者】 植木・苗木について、一宮市など近隣市町村のまつりに5回出店し、販売した。また、全国植樹祭会場内にて稲沢産イチヨウの木コースターを販売した。</p> <p>【市観光協会①】 稲沢グランドボウルで開催されたボウリングの全国大会(6月23日開催の全日本シニアボウリング大会、8月4日開催の全国小学生ボウリング大会)と市外からの参加者も多い稲沢シティーマラソン(11月10日開催)に出店し、特産品販売とパンフレット等による稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市・市観光協会②】 美濃路街道連携協議会の加盟自治体として、大垣市で11月16日、17日の2日間開催された西美濃まるごとバザール内の「美濃路フェスタinおがき」美濃路街道交流物産展に出店参加し、銀杏の試食販売と稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>【市観光協会③】 モリコロパークで開催される市町村対抗駅伝大会に協賛して行われた「ふるさと市」(12月7日開催)に出店し、銀杏の試食販売と共に「イチヨウ黄葉のまち・稲沢市」をPRした。</p> <p>【市観光協会④】 国府宮はだか祭(2月6日開催)の来場者に対し、市内の農業生産者の協力の下、会場付近の商店街の空きスペースを利用して特産品の宣伝販売を実施する。</p> <p>【稲沢商工会議所】 現在特産品の認定を受けている商品について、事業者にて認定更新の意思確認を行った。また、新たな特産品を募集の上、稲沢市特産品認定委員会で認定し、ラインナップの拡充を図る。</p> <p>【稲沢商工会議所②】 「いなざわ梅まつり」、「稲沢桜まつり」、「稲沢あじさいまつり」、「稲沢まつり」、「そぶえイチヨウ黄葉まつり」において、特産品のPRを行った。</p> <p>【祖父江町商工会】 特産品を活用した商品・サービスの提供者に対して、「そぶえイチヨウ黄葉まつり」に出店してもらおう働きかけた。</p> <p>【祖父江町商工会②】 市内外の各種イベント・物産展に商工会員と共に参加し、銀杏と銀杏加工品のPR及び販売を行った。</p> <p>【JA愛知西】 JA愛知西産直広場一色下方店の外売場を充実させるため、一部店舗の改装を行った。また、インショップ販売による集荷場施設を継続活用している。</p>	<p>【市・市観光協会】 JR稲沢駅東側に豊田合成記念体育館が2020年9月にオープン予定。実業団スポーツチームの公式戦開催に加え、地域への開放、コンビニエンスストアやレストラン等も併設されるため、市の特産品販売や施設活用など、観光面での連携が図れるよう調整を進めていく。</p> <p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会】 ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる本市特産品のPRに努めることで、本市の観光資源の魅力を全国に発信していく。</p> <p>【祖父江町商工会】 事業者に対し、そぶえイチヨウ黄葉まつりへの出店を呼びかけることで、販路拡大に繋がる取組みを推進していく。</p> <p>【平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。</p> <p>【JA愛知西】 農産物出荷者を増やすため、産直施設のメリットを引き続きPRしていく。</p>
			稲沢市の特性を活かした土産品の開発	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者 市民団体	中期 (3~5年)	<p>【祖父江町商工会】 銀杏を使った和洋菓子、グルメ、酒などの新商品開発に努めるとともに、銀杏自体も全国に向けてPR活動を行った。また、銀杏を粉末化し、抹茶・ショウガなどとブレンドしたイチヨウブレンド茶の試飲モニタリング調査をそぶえイチヨウ黄葉まつり会場で行った。</p> <p>【平和町商工会・大学】 食を通じて平和町の桜のPRと地域の発展につなげるため、「桜」をテーマとしたレシピの開発を愛知文教女子短期大学に依頼した。今後提案されたメニューを基に取扱事業者を募り、具体的な商品化を進める。</p>	<p>【祖父江町商工会】 地域資源「イチヨウ・銀杏」を活用した開発商品の知名度を高め、土産品としてのブランド力向上に努める。また、イチヨウブレンド茶については、2019年度に実施した試飲モニタリング調査の結果を基に、今後の商品化を目指していく。</p> <p>【平和町商工会】 今後も関係団体と協議していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
			「食」の地域ブランド化の推進	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	中期 (3~5年)	【JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者】 祖父江ぎんなんブランド推進協議会として、「祖父江ぎんなん」を県内外に広くPRするための宣伝販売活動を行った。	【市】 特産品のブランド強化及び6次産業化の推進に向けて、関係団体等と連携していく。  【稲沢商工会議所・祖父江町商工会・平和町商工会】 今後も関係団体と協議していく。  【JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者】 「祖父江ぎんなん」のブランド強化に向けて、今後も精力的な宣伝販売活動に取り組んでいく。
			生産者と消費者をつなげる交流拠点の整備	市(商工観光課) 市(農務課) 市(生涯学習課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	長期 (5年以上)	【市・農商工業者】 Inazawaこだわりファーマーズ(平成28年度6次産業化起業塾の卒業生らによって発足した農業者団体)の活動として、「いなざわ植木まつり」、「稲沢まつり」、「いなざわ梅まつり」等での出店、リーフウォークアピタ稲沢店での産直出店を行った。  【祖父江町商工会】 そぶえいチョウ黄葉まつりを生産者と消費者をつなげる交流拠点の場として活用した。 また、まつり終了後にも、地元生産者と消費者をつなぐおもてなし展示即売会を祐専寺で実施した。  【JA愛知西】 JA愛知西産直広場一色下方店の外売場を充実させるため、一部店舗の改装を行い、活力ある店舗づくりに努めた。 また、店舗隣接の農地にて野菜の定植、収穫を行う親子農業体験を実施した。	【市①】 産直販売について現在は不定期開催であり、リピーターとなる顧客の確保が難しい。そのため、定期開催もしくはは次回の開催日を周知できるようチラシの作成やSNS等の媒体の活用を検討する。また、農業者団体の枠を超えて農業者間の横のつながりを広げていく必要がある。  【市②】 史跡尾張国分寺跡の保存整備計画を具体化していく中で、地域産業振興拠点としての「(仮称)ふれあい広場」について、関係部署とともに必要に応じて検討していく。  【祖父江町商工会】 今後、交流拠点の整備に努める。  【平和町商工会】 今後関係団体と協議していく。  【JA愛知西】 農産物出荷者を増やすため、産直施設のメリットを引き続きPRしていく。
3	③ 観光施設の安全確保と利便性の向上	◆子どもから高齢者、障害を持った方、外国人など来訪者の誰もが安心して観光施設を利用できるよう、施設の適正な維持管理に努める。  ◆バリアフリー化やユニバーサルデザイン化、Wi-Fi環境の整備を推進し、施設利用者の利便性向上を図る。	観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	中期 (3~5年)	【市】 名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージの周辺エリアに、無料公衆無線LANスポット「NAPPY FREE Wi-Fi」を整備した。  【祖父江町商工会】 そぶえいチョウ黄葉まつりの開催期間中、会場内(祐専寺)に無料Wi-Fiスポット設置した。	【市】 毎年多くの観光客が見込まれる祭り・イベントでの来場者サービスの一環として、会場内に臨時的な無料Wi-Fiスポットを設置し、リアルタイムな観光情報の拡散を促すことで、更なる観光誘客につなげる。
			観光関連施設の適切な維持・管理	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	長期 (5年以上)	【市】 引き続き、施設の適切な維持・管理に努めた。	【市①】 誰もが安心して観光施設を利用できるよう、引き続き適切な維持・管理に努めていく。  【市②】 稲沢あじさいまつりの会場でもある大塚性海寺歴史公園に植栽されているアジサイについて、1991年度の整備完了から約30年が経過し、大規模な植え替えが必要となっていることから、園内景観の保全のため2020年から5か年で順次整備を行う。
			観光関連施設におけるバリアフリー化等の推進	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	長期 (5年以上)	【市】 「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備に際し、バリアフリーに配慮した施設づくりを行った。 (2020年4月オープン予定)。	【市・市観光協会】 市内の主要観光施設における現状調査を順次実施し、バリアフリー対応の実態について把握に努める。 把握できた情報は、市観光協会の公式サイトへの掲載等を通じて情報提供に努めていく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
3	④ 交通アクセスの充実・活用	<p>◆コミュニティバスなどの公共交通機関や民間事業者と連携したレンタサイクルの活用などを検討し、市内を広く周遊できる環境を整備する。</p> <p>◆鉄道事業者との連携をさらに進め、外部からの誘客を図る事業を企画・立案し、来訪・交流人口の拡大による地域の活性化へとつなげる。</p>	稲沢市コミュニティバスの活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	<p>【市・市観光協会】 引き続き、まつり・イベント会場や観光資源への案内に活用した。</p> <p>【市観光協会】 コミュニティバスの時刻表を刷り込んだ市内観光マップ「コミュニティバスに乗って観光地へ行こう!!」を活用して、観光客に市内観光資源の周遊を促した。</p>	【市観光協会】 バス路線の改訂に合わせて市内観光マップ「コミュニティバスに乗って観光地へ行こう!!」も改訂発行する。
			民間事業者と連携したレンタサイクル等の二次交通の開発・運営の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	中期 (3~5年)	未実施	【市・市観光協会】 実施に向けて調査研究していく。
			鉄道事業者と連携した誘客促進	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 愛知DCアフターキャンペーンにおいて、愛知県、愛知県観光協会、JR東海と連携し、稲沢市の観光資源の宣伝販売のほか、観光列車によるプロモーション、周遊バスツアーを実施した。</p> <p>【市観光協会・交通事業者】 6月9日にJR東海と連携して、稲沢あじさいまつり会場をコースとするJRさわやかウォーキングを実施した。</p> <p>【平和町商工会】 令和2年4月4日開催のへいわさくらまつりに合わせて、桜ネックレスを巡る名鉄ハイキングを実施していただくよう名古屋鉄道へ依頼した。</p>	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 「愛知・名古屋観光誘客協議会(仮称)」への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関等との連携により、PR・プロモーションや周遊促進施策を効果的に展開することで、本市への更なる観光誘客につなげていく。</p> <p>【市観光協会・交通事業者】 2020年4月12日に名鉄ハイキング、稲沢あじさいまつり期間中である6月7日にJRさわやかウォーキングがそれぞれ開催される予定となっている。 名古屋鉄道とJR東海の協力により2,000人を超える集客が見込めるため、今後両社との連携をさらに深め、市内関係者の協力の下、積極的な提案行っていく。</p>
3	⑤ トイレ、休憩所、駐車場の整備及び案内	<p>◆市内を散策又はドライブ周遊する際に必要なトイレや休憩できる場所、駐車場について順次整備を進めるとともに、それらの情報を来訪者に分かりやすく提供する。</p> <p>◆各施設の整備に際しては、来訪者の誰もが安心して利用できるよう、</p>	トイレ、休憩所、駐車場に関する情報提供	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市・市観光協会】 祭り・イベントのチラシ及び現地での案内にとどまる。	【市・市観光協会】 市内の主要観光施設における現状調査を順次実施し、市観光協会の公式サイトへの掲載等を通じて情報提供に努めていく。
			トイレ、休憩所、駐車場の適切な整備	市(商工観光課) 国・県 観光事業者 交通事業者 寺社	中期 (3~5年)	<p>【市】 「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」の整備に際し、バリアフリーに配慮したトイレ、休憩所、駐車場を設けた(2020年4月オープン予定)。</p> <p>【市観光協会】 「国府宮はだか祭」の開催に際して、来場者の利便性向上のため、国府宮駅前ロータリーと名古屋文理大学文化フォーラム駐車場に仮設トイレを設置する。 また、障がい者の社会進出支援の観点から、いなざわ梅まつり(3月7日・8日開催)において、一般用の仮設トイレと共に車いす対応の仮設トイレを新たに設置する。</p>	<p>【市】 各施設の適切な維持管理に努めていく。</p> <p>【市観光協会】 来場者の利便性向上のため、イベント時の仮設トイレの設置に今後も継続して取り組んでいく。</p>
3	⑥ イベント民泊の実施	◆国府宮はだか祭をはじめ多数の集客が見込まれる祭り・イベント時の交流促進や観光消費の拡大等につげるため、宿泊施設の不足解消に向けた一つの対策として、イベント民泊の実施について検討する。	イベント民泊の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 寺社 市民個人	長期 (5年以上)	未実施	【市・市観光協会】 実施に向けて調査研究を進めていく。



NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2019年度の取組実績・進捗状況 【2019年12月末現在】	2020年度の取組方針(課題を踏まえて)
3	⑦ イベント・コンベンションの誘致	<p>◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会や夏季アジア競技大会をはじめとする国際的規模のスポーツ大会の開催機会を捉え、スポーツ・文化の事前合宿やイベント・コンベンションを誘致し、地域経済の活性化につなげる。</p> <p>◆誘致に際しては、名神高速道路、東名阪自動車道などの高速道路ネットワークに近接した立地環境や名古屋市から鉄道で約10分圏内であるという利便性を強調するほか、本市にある実業団スポーツチームとも連携協力し、イベント・コンベンションの開催地としての魅力をアピールしていく。</p>	アジア競技大会・ボウリング競技における開催地誘致活動の推進	市(スポーツ課)	長期 (5年以上)	【市】 アジア競技大会のボウリング競技については、未だ詳細が決定していないが、仮に開催されたとしても、会場候補地である稲沢グラウンドボウルで開催することは、防犯面での懸念から大変厳しい状況にあることには変わりはない。今後は、JR稲沢駅東側に2020年9月オープン予定の豊田合成記念体育館において開催可能な競技について、豊田合成(株)と連携しながら誘致活動を進めていくこととする。	【市】 アジア競技大会に関する会場選定等の具体的なスケジュールは未だ示されていないため、関連イベントや会議等に積極的に参加しながら、機会を捉えて本市での開催をアピールしていきたい。
			イベント(コンサート、発表会)・コンベンション(会議、集会、大会)の誘致	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会	長期 (5年以上)	実施なし	【市・市観光協会】 JR稲沢駅東側に豊田合成記念体育館が2020年9月にオープン予定。実業団スポーツチームの公式戦開催に加え、地域への開放、コンビニエンスストアやレストラン等も併設されるため、市の特産品販売や施設活用など、観光面での連携が図れるよう調整を進めていく。
3	⑧ 国際姉妹友好都市との交流による外国人観光客の誘致	<p>◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会や夏季アジア競技大会の開催を契機として、姉妹都市であるギリシャのオリンピア市や友好都市である中国の赤峰市との交流を促進し、相互理解を深めるとともに、外国人観光客の誘致を図る。</p>	ギリシャ共和国・オリンピア市ホストタウン推進事業	市(秘書広報課)	短期 (1～3年)	【市】 6月4日実施の「ギリシャ給食デー」に駐日ギリシャ大使夫妻、大使館職員を招待し、平和中学校でギリシャに関する講演を行った。 また、ギリシャ・リセウム・カヴァラ舞踊団の稲沢公演を10月10日に名古屋文理大学文化フォーラム中ホールで開催した。(来場者数:約500人)	【市】 稲沢市とギリシャ(オリンピア市)の関係を市民にさらに浸透させ、受入環境を整備すべく、駐日ギリシャ大使館等と協力し、事業の周知に努める。
			国際友好事業	市(秘書広報課) 観光事業者 市民団体 市国際友好協会	中期 (3～5年)	【市】 国際友好協会による「語学講座」、「料理講座」等の開催支援を行った。	【市観光協会】 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、市民のギリシャ(オリンピア市)に対する関心を高めるため、ギリシャ大使館と協力し、総会での大使館職員による講演会を計画する。
3	⑨ 観光まちづくりに資する観光統計の充実	<p>◆地域づくりに資する指標と経済効果に関わる指標を併せて把握し、地域づくりと収益性の両面を満たした持続可能な観光まちづくりを目指す。</p> <p>◆ターゲットを絞ったプロモーションを実施し、市内への誘客につなげていくため、来訪者の属性や市内観光消費額、外国人観光客数等の必要な統計数値を各種調査により把握し、効果検証を重ね、事業の見直しと新規施策の企画立案に活用する。</p>	アンケート調査等による市民意識の把握	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	実施なし	【市】 2020年に市政世論調査を実施予定(隔年調査)。
			来訪者等に対するマーケティング調査の実施	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 いなざわ梅まつり、いなざわ植木まつり、稲沢あじさいまつり、そぶえいちヨウ黄葉まつりにおいて、来場者にアンケート調査を実施し、市内での一人当たり観光消費額の把握に努めた。	【市・市観光協会】 今後も継続的にアンケート調査を実施し、観光客のニーズを把握することで、祭り・イベントの運営や観光プロモーション活動に反映し、持続的な観光誘客につなげていく。また、より精度の高い市内観光消費額の把握に努め、観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築につなげていく。
			観光に関する統計の整備	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	【市・市観光協会】 愛知県観光レクリエーション利用者統計に基づく観光入込客数以外に、市内の各種イベント、祭り、産直広場、施設への来訪者数を把握に努めた。	【市・市観光協会】 今後も継続的に来訪者数調査を実施し、効果検証を重ねることで、市内への誘客につなげていく。また、観光客の実態・傾向や外国人観光客数の把握に向けて、有効手法の調査研究を進めていく。